

319

379

陸海軍將校志望者案内

山本敏一編

国立国会図書館



始



ト工4F-45

陸海軍將校志望者案内

319-379



緒言

將校ハ國家ノ干城國軍ノ楨幹タリ即チ平時ニ於テハ國民ノ入營服役者ニ軍事教育ヲ授ケ之ニ依リテ以テ國民ニ服從、秩序ノ美德ト勇敢、剛毅ノ良風ヲ扶植シ戰時ニ於テハ之ヲ率ヒ以テ敵ニ當リ國威國權ヲ擁護スルノ職分ヲ有ス天下職業多シト雖此ノ如ク高尚ニシテ貴重ナルモノ又他ニアルコトナシ里諺ニ「人ハ武士、花ハ櫻ニ魚ハ鯛」ト言簡ナリト雖實ニ之レ男子ノ本懷ヲ現ハセルモノト云フヘシ夫レ生ヲ棄テ義ヲ取リ身ヲ殺シテ仁ヲ成スコトハ素ヨリ富貴利祿以テ其心ヲ動スニ足ラサルモノニアラズレハ能ハサル所トス然ルニ方今各地陸海軍將校生徒志願者益々増加ノ傾向アリ之レ實ニ國家ノ慶事アラシキ

本書ハ陸軍補充令、陸軍召募規則、海軍高等武官補充條例、海軍生徒採用規則、海軍中軍醫、少軍醫、中藥劑士、小藥劑士、少軍醫候補生、少藥劑士候補生採用規則、中主計、少主計、少主計候補生採用規則、陸軍士官學校條例、陸軍中央幼年學校條例、陸軍地方幼年學校條例、陸軍經理學校條例、海軍兵學校條例、海軍機關學校條例、海軍經理學校條例ヲ基礎トシ如何ナル經路ニ依リテ陸海軍將校又ハ同相當官トナリ得ルヤヲ概說セリ其募集人員、願書書式及呈出時日其他受験ニ關スル心得ニ就テハ毎年官報ヲ以テ告示セラル、ヲ以テ各地市町村役場ニ就テ詳知スルヲ最モ確實ナリトス

大正
6. 4. 16
内交

陸海軍將校志望者案内

目次

- 第一篇 陸軍將校トナルノ經路
- 第一章 士官候補生ヨリ士官學校派遣迄
- 第一節 幼年學校ヲ經ルモノ
- 一、陸軍地方幼年學校生徒志願者心得
- イ、志願者ノ資格
- ロ、入學試験科目及程度
- ハ、検査場
- ニ、入學試験及成績發表
- ホ、入學學校
- ヘ、願書及其差出シ方
- ト、願書類呈出竝ニ調製上注意スヘキ事項
- チ、願書呈出後身上異動及検査場變更ニ就テノ注意
- リ、生徒ノ種類ト費用
- ス、入學試験受験ニ就テノ注意
- 二、幼年學校生活
- 三、幼年學校卒業後士官學校派遣迄

第二節 選抜試験ニ依リ直ニ士官候補生トナルモノ

- 一、士官候補生志願者心得
- イ、志願者ノ資格
- ロ、試験科目及程度
- ハ、希望兵種
- ニ、願書及其差出シ方
- ホ、検査場、願書呈出後異動ヲ生シタルトキノ處置及受験要領
- ヘ、成績發表
- 二、入隊後士官學校派遣迄
- 第二章 士官學校生活
- 第三章 士官學校卒業ヨリ少尉任官迄
- 第二篇 陸軍經理部將校相當官トナルノ經路
- 第二節 陸軍衛生部(獸醫部)將校相當官トナルノ經路
- 第四篇 海軍將校、同相當官トナルノ經路
- 第一章 總說
- 第二章 海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校
- 第一節 海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒志願者心得
- 一、志願者ノ資格

- 二、検査場
- 三、試験科目及程度
- 四、願書及其差出シ方ニ就テ
- 五、入學試験受験ニ就テノ注意
- 六、生徒ノ採用

第二節 學校生活

- イ、海軍兵學校
- ロ、海軍機關學校
- ハ、海軍經理學校

第三章 海軍中軍醫、海軍少軍醫、海軍中藥劑士、海軍少藥劑士、海軍少軍醫候補生、

海軍少藥劑士候補生志願者心得

第四章 海軍中主計、海軍少主計、海軍少主計候補生志願者心得

附錄

- 一、陸海軍軍人ノ階級
- 二、陸海軍將校同相當官ノ進級
- 三、現役年限年齡
- 四、俸給及宅料
- 五、恩給

陸海軍將校志望者案内

第一篇 陸軍將校トナルノ經路

第一章 士官候補生ヨリ士官學校派遣迄

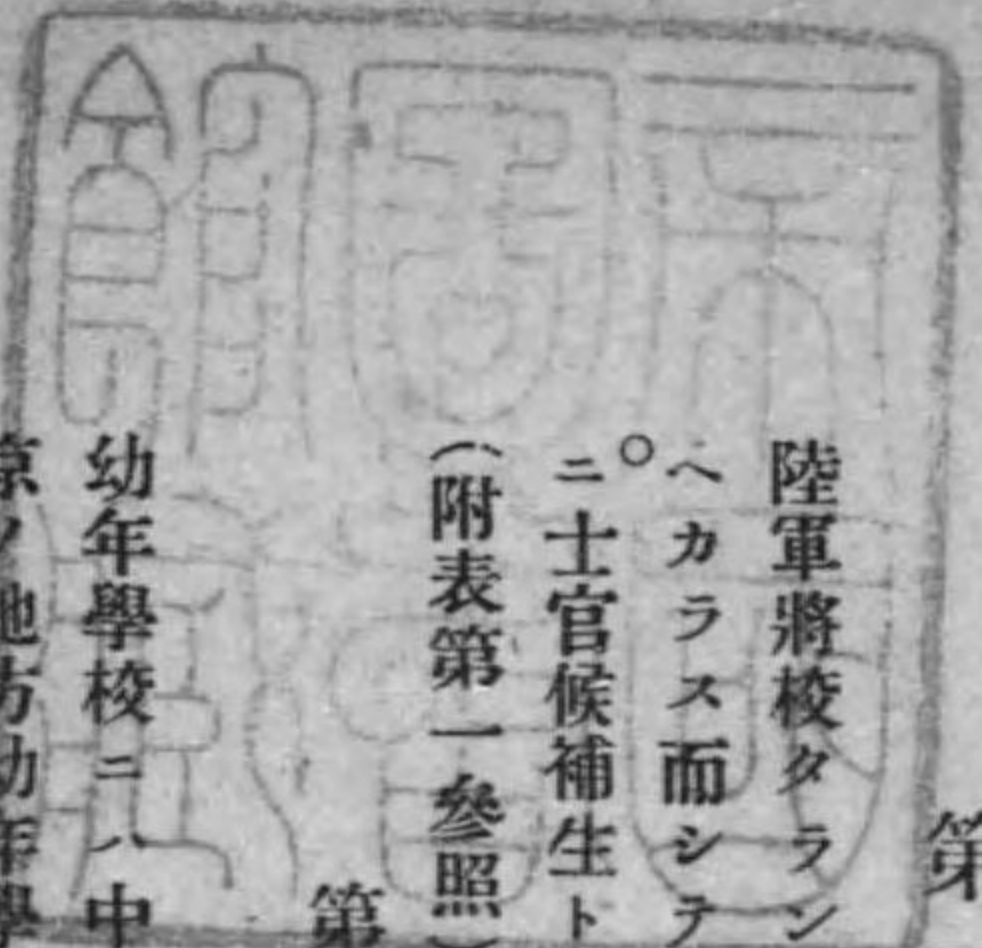
陸軍將校トナルニ欲セハ先ツ士官候補生トナリ隊附勤務ヲナシタル後陸軍士官學校ノ課程ヲ卒ヘサルヘカラス而シテ士官候補生トナルニハ二途アリ其一ハ幼年學校ヲ經ルモノト他ハ選抜試験ニヨリテ直ニ士官候補生トナルモノ之レナリ今左ニ其志願ノ方法及士官學校派遣ニ至ル迄ノ經過ノ概要ヲ述ヘン

(附表第一参照)

第一節 幼年學校ヲ經ルモノ

一、陸軍地方幼年學校生徒志願者心得
幼年學校ニハ中央幼年學校ト地方幼年學校トノ二アリ中央幼年學校ハ東京ニ置キ更ニ本科ト豫科(東京ノ地方幼年學校ヲ特ニ豫科ト云フ)トニ分タル地方幼年學校ハ仙臺、名古屋、大阪、廣島及熊本ノ五ヶ所ニ置ク

幼年學校ノ受験トハ即チ豫科又ハ各地方幼年學校ノ入學試験ヲ受クルコトニシテ年々身體検査及學科試験ノ結果全國ヲ通シテ三百人即一校五十人宛ノ生徒ヲ採用スルモノトス
幼年學校生徒ヲ志願セントスル者ハ概テ次ニ記セル事柄ヲ知ラサルヘカラス尙詳細ハ知人タル將校若



クハ市、町、村役場ノ兵事係ニ就テ聞クヲ可トス

志願者ノ年齢及身長左ノ如シ
(イ) 志願者ノ資格

一、年齢、滿十三年以上十五年未滿
但年齢ハ入校ノ年ノ三月三十一日ヲ以テ之ヲ算ス(例ハ大正六年ノ受験資格者ハ明治三十五年四月二日ヨリ明治三十七年四月一日迄出生者)

二、身長、四尺四寸以上

但戦死及戦傷ニ依リ戦歿シ又ハ戦役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死歿シタル陸海軍將校、同相當官、准士官、下士竝ニ高等文官ノ孤兒ニアリテハ身長本文ノ定限ニ達セサルモ士官候補生トナル迄ニ該定限ニ達スヘキ見込アル者

次ノ各項ニ該ル者ハ採用セラレヌ

一、本人又ハ父若クハ戸主カ家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復権ヲ得サル者及身代限リノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

二、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三、素行修ラサル者

(ロ) 入學試験科目及程度

一、入學試験ハ中學校第一學年終業ノ程度ニ於テ之ヲ行フ其問題ハ比較的多數ニシテ短時間ニ墨書シテ答解セサルヘカラサルヲ以テ決シテ輕蔑スヘカラス

一、讀書。漢字交リ文ノ講讀

一、作文。漢字交リ文、書翰文

一、算術。複比例迄

一、地理歴史。日本地理、日本歴史ノ大要

(ハ) 検査場

受験場ハ次ニ列舉スル場所ニ設ケラル其内便宜ノ所ヲ選フコトヲ得ルモ自己ノ本籍地若クハ現住地師管外ノ検査場ヲ選フコト能ハス例令ハ和歌山縣ニ本籍アリ東京ニ現住スルトセハ本籍地タル和歌山及現住地タル東京師管内ノ検査場即和歌山、堺、大阪、篠山、東京、横須賀、佐倉、甲府以外ノ地ニテ受験シ能ハサルモノトス

第一師管	東京	横須賀	佐倉	甲府
第二師管	仙臺	福島	若松	山形
第三師管	名古屋	津	桑名	岐阜
第四師管	大阪	和歌山	篠山	堺
第五師管	廣島	岩國	山口	松山
第六師管	熊本	八代	鹿兒島	都城
第七師管	札幌	函館	盛岡	旭川
第八師管	弘前	青森	富山	秋田
第九師管	金澤	高岡	富山	鯖江
				那覇

第十師管	姫路	神戸	福知山	鳥取
第十一師管	善通寺	丸龜	高知	徳島
第十二師管	小倉	大分	中津	福岡
第十三師管	高田	新發田	村松	熊本
第十四師管	宇都宮	高崎	水戸	熊谷
第十五師管	豊橋	飯田	静岡	濱松
第十六師管	大津	敦賀	京都	奈良
第十七師管	岡山	福山	濱田	松江
第十八師管	久留米	佐賀	大村	高瀬
朝鮮	京城			
臺灣	臺北	臺南		
關東州	旅順			

- (二) 入學試験及成績發表
- 一、検査ヲ分チテ身體検査及學科試験トス
身體検査ハ學科試験前ニ之ヲ行フ其時日ハ師團長ノ達示ニヨリ承知スヘシ
- 二、學科試験ハ身體検査合格者ニ就キ四月十九日ニ開始シ其施行期日ハ概ネ三日間トス
- 三、試験ノ成績ハ概ネ七月頃官報ヲ以テ發表セラレ又郡、市、町、村長ヲ經テ本人ニ達セラル
- (ホ) 入校學校

志願者中召募試験ニ合格セシ者ハ概ネ左ノ區分ニ基キ入校セシム

- 第一、第十三、第十四師管内居住者ハ
陸軍中央幼年學校
- 第二、第七、第八師管内居住者ハ
仙臺陸軍地方幼年學校
- 第三、第九、第十五師管内居住者ハ
名古屋陸軍地方幼年學校
- 第四、第十、第十六師管内居住者ハ
大阪陸軍地方幼年學校
- 第五、第十一、第十七師管内居住者ハ
廣島陸軍地方幼年學校
- 第六、第十二、第十八師管内居住者ハ
熊本陸軍地方幼年學校

(ハ) 願書及其差出シ方

- 一、志願者ハ本人ノ父母其他ニシテ一家ヲ爲シ身元確實ナル者二人ヲ以テ保證人(保證人ハ互ニ戶籍ヲ異ニシ内一名ハ親權者ナルヲ要ス)ト爲シ願書(第一様式)戶籍謄本(戶籍吏ノ證明アルモノ)及履歷書(第二様式)ヲ添付スヘシ
- 二、志願者中陸軍地方幼年學校條例第十三條及第十四條(特待生又ハ半特待生タル資格アルモノ)ニ該ル者ニ在リテハ其父ノ略歴ヲ願書ニ添付シ又任官後十五年以上隊附勤務ニ精勤シ滿期歸郷又ハ死歿ノ際軍隊、官衙學校ノ長官ヨリ勤務證明書ヲ與ヘラレタル陸軍下士ノ兒子ニアリテハ其父ノ略歴ノ外勤務證明書寫ヲ添付スヘシ
- 三、前項ノ書類ハ検査ヲ受クヘキ前年ノ十一月三十日迄ニ本籍地ノ市町村長ニ差出シ現在修學中ナル學校長(修學シアラサルモノニアリテハ最近ニ卒業セシ學校長)ニ成績證明ヲ願出ツヘシ
- 四、學校長志願者ヨリ成績證明ヲ願出タルトキハ證明書(第四様式)ヲ作り検査ヲ受クヘキ前年ノ十二

月二十日迄ニ之ヲ本籍地ノ聯隊區司令官ニ送付スルモノトス

五、檢査ヲ本籍所在師管外ノ現住地ニ於テ受ケントスルトキハ願書ニ其旨ヲ記スヘシ

六、市町村長ハ試驗全濟者ニ付身元明細書(第五様式)ヲ作り町村長ハ之ヲ郡長ニ差出シ郡市長ハ六月

十日迄ニ之ヲ聯隊區司令官ニ差出スモノトス

(ト) 願書類提出竝ニ調製上注意スヘキ事項

一、願書類提出ノ時期ハ毎年十月頃官報ヲ以テ發表セラルルヲ以テ此發表ノ日ヨリ十一月三十日迄ノ

間ニ提出スヘキコト

二、誤字、脱字、略字、擬字ナキ様注意スルコト

入學願書ニ就キテ

一、戶主及親權者等ノ職業ヲ記載スルニ單ニ物品販賣業、庶業、雜業、商業、工業、製造業、職工又ハ官吏、公吏、某役所在勤ト云フ如キ判明ナラサルモノ往々アリ是等ハ何々販賣、何々職業、何々製造業、又ハ何官何職ト云フ如ク明記スヘキコト

二、志願者ノ氏名生年月等ハ戶籍謄本ト相違スルコトナク且氏名ハ特ニ字畫ヲ正シ總テノ願書中皆同

一ナルヘキコト

三、志願者ニシテ陸軍下士以上又ハ海軍將校ノ養子ナルトキハ本人氏名ノ肩書ニ「養子」又ハ「家督相

續者タル養子」ト明記スヘキコト

四、入校後ノ外國語學ハ佛、獨、露語ノ内其一ヲ選フヘシ其他ノ語學ハナシ

五、受験場ヲ記載スヘキコト

履歷書ニ就テ

一、修學セシ學校名ハ官、公、私、立ノ別ヲ明記スヘキコト

二、願書提出當時ニ於ケル學業(例ヘハ目下何學校第何學年修學中又ハ何學校第何學年修業現時自宅

獨習中等)ヲ記載スヘキコト

其ノ他ニ就テ

一陸軍地方幼年學校條例第十三條及第十四條ニヨル志願者ノ願書ニ添付スヘキ父ノ略歷ハ特待生若ク

ハ半特待生タルヘキ資格ノ有無ヲ決定スルニ必要アルヲ以テ左ノ例ニ依リ明確ニ記載スヘキコト

(イ)實父某現役何兵大尉何戰役中何年何月何日何地ニ於テ戰死同日少佐

(ロ)養父某豫備役何兵少佐何戰役應召何職ニ就キ何年何月何日何地ニ於テ戰鬪中貫通銃創ヲ受ケ何

年何月何日之ニ起因シ死歿

(ハ)實父某現役一等軍醫何年何月何日何戰役ニ從軍シ何地ニ於テ危難(實況詳記)ヲ冒シタルニ起因シ發病後送何年何月何日何病院ニ於テ死歿

(ニ)養父某後備役何兵曹長何戰役應召何隊ニ編入何年何月何日何地ニ於テ戰死

(ホ)實父某退役陸軍少將何戰役ニ現役歩兵大佐ニテ何地ニ戰鬪ノ際負傷シ何年何月何日陸軍少將同日退役トナリ軍人恩給法第九條第三號ニ依リ增加恩給ヲ受ク何年何月何日病死

(ハ)實父某何年何月何日現役歩兵伍長何年何月何日一等計手何年何月何日三等主計何年何月何日病死(恩給權アリ)(恩給權ナシ)

(ト)實父某徵兵トシテ何隊入隊何年何月何日何兵伍長何年何月何日何兵曹長何年何月何日現役滿期

明治三十七年達第百十一號ノ證明書ヲ受ケ何年何月何日病死

(チ)實父某士官候補生出身(下士出身ナレハ下士初任ノ年月日)現役歩兵大尉(何官銜)何々在職中
(リ)養父某何年何月何日現役滿期豫備役編入何年何月何日勤務演習ニ召集何年何月何日何兵少尉何年何月何日何戰役應召何年何月何日何兵中尉何年何月何日召集解除現時何々職業(無職業)(恩給權アリ)(恩給權ナシ)

(ヌ)實父某現役何兵大尉何年何月何日何兵少佐同日後備

(チ)願書提出後身上異動及検査場變更ニ就テノ注意

一、志願者願書ヲ差出シタル後入校迄ノ間ニ於テ轉籍、轉任、氏名變更、犯罪、死亡、其他願書類ニ記載シタル事項及保證人等ニ異動ヲ生シタルトキハ本人又ハ保證人ヨリ最初願出ノ手續ニ從ヒ速カニ願出ツヘシ

前項ノ願書ニハ本籍地、現住地、族稱、氏名及検査場ヲ記載スルヲ要ス

二、願書提出後現住所ヲ轉シタル爲検査場ノ變更ヲ望ム者ハ新舊検査場及新舊住所、族稱、氏名、生年月日ヲ記載シタル願書ヲ最初願出ノ順序ニヨリ差出スヘシ
但願書三月十日迄ニ教育總監部ニ着セサルモノハ其變更ヲ許可セス

(リ)生徒ノ種類ト費用

生徒ハ特待生(官費)、半特待生(半官費)、自費生ノ三種ニ區分セラレ自費生及半特待生ハ毎月次ノ納金ヲナスモノトス

自費生 八 圓 半特待生 四 圓

右ノ金額ヲ納付スレハ衣、食、住及教育用書籍其他ノ材料等凡テ學校ヨリ支給セラルルモノトス然レトモ尙此ノ外各人小使トシテ概ネ一圓五十錢乃至二圓ヲ要ス

舊紀州領出身者ハ南葵育英會ニ出願スレハ全額若クハ一部ヲ貸費セラレ又成績優良ノモノハ學資ノ一部又ハ全部ヲ給與セラル、モノトス(南葵育英會貸費規則參照)

左ノ各項ニ該ルモノハ列記ノ順序ニ從ヒ資産ヲ願慮シ若干名ヲ限リ特待生及半特待生ヲ命セラル

一、特待生

一、戰死及戰傷ニ依リ戰歿シ又ハ戰役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死歿シタル陸海軍將校、同相當官及陸軍准士官下士並ニ高等文官ノ子

二、現役中公務ノ爲ニ死歿シタル陸海軍將校及同相當官ノ子

三、增加恩給權ヲ得タル陸海軍將校及同相當官ニシテ死歿シタルモノ、子

四、恩給權ヲ得タル陸海軍將校及同相當官ニシテ死歿シタルモノ、子

五、增加恩給權ヲ得タル陸軍准士官、下士及任官後十五年以上隊附勤務ニ精勤シタル陸軍下士ノ子

六、特ニ國家ニ功勞アル高等官ニシテ死歿シタルモノ、子

二、半特待生

一、前特待生ノ各號ノ一ニ該ル者ノ内特待生トナラサルモノ

二、現職ニ在ル陸海軍尉官及同相當官ノ子

三、恩給權ヲ得タル陸海軍尉官及同相當官ノ子

四、陸海軍少佐及同相當官ニ名譽進級ヲ爲シタル者ノ子

家督相續者タル養子ハ前、特待生及半特待生ノ項ニ規定スル子ニ準ス但子ハ同戸籍内ニ現在スルモノニ限ル

(ヌ) 入學試験受験ニ就テノ注意

- 一、試験前ニハ志願者ニ受験期日、場所及受験ニ關スル諸注意ヲ認メタル通知書ヲ配賦セラル、モノトス而シテ試験ハ身體検査ヨリ始ム
- 二、志願者ハ身體検査期日前検査地ニ到着シ書面ヲ以テ其止宿所ヲ師團長ヨリ指定セラレタル場所ニ届出ツヘシ(届書ハ不著等ノコトニキ様成シ得ル限リ自ラ持參出頭スヘシ)但検査地ニ現住スルモノト雖モ同様届出ツヘシ
- 三、身體検査ノ際新タニ撮影シタル單獨半身脱帽ノ手札形ノ寫眞(裏ニ本人ノ府(縣)族稱氏名ヲ自書スヘシ)一葉ヲ携帶シ検査醫官ニ差出スヘシ
- 身體検査ハ頗ル綿密ニ施行セラル不合格ノモノハ即時其旨ヲ傳ヘラレ合格者ハ其時學科試験ニ關スル注意書ヲ配賦セラル、モノトス
- 四、學科試験ノ際毛筆、鉛筆、消ゴム、墨、硯又ハ墨池、小刀ヲ携帶スヘシ其他一切ノ書類、筆記類、白紙等ヲ携帶スルヲ許サス
- 五、身體検査又ハ學科試験ヲ受クル爲メ出場スルトキハ洋服ヲ着用スルカ又ハ和服ニ袴ヲ穿ツヘシ
- 六、志願者ハ疾病若クハ已ムヲ得サル事故ヲ生シ検査場ニ出頭シ難キトキハ事由ヲ具シテ届出ツヘシ但學科試験ノ際遅刻若クハ缺席スル者ハ事由ヲ問ハス試験ヲ停止ス
- 七、左ノ各號ノ一ニ該ル者ハ検査ヲ停止ス但第一號ニ該ル者ハ爾後出願スルモ採用セス

- 一、身體検査又ハ學科試験ノ際不正ノ行爲アリタル者
- 二、検査場ヘ規定外ノ物品及ヒ筆記類ヲ携ヘタル者
- 三、身體検査又ハ學科試験ニ缺席若クハ遅刻シタル者

二、幼年學校生活

- 一、入學試験ニ採用セラレタル者ハ九月一日豫科又ハ地方幼年學校ニ入校シ同所ニ於テ三ケ年ノ課程ヲ踏ミタル後中央幼年學校本科ニ於テ更ニ二ケ年ノ修業ヲ爲スモノトス
- 二、幼年學校ハ軍事上ノ必要ヲ顧慮シ普通學科及軍人ノ豫備教育ヲナシ軍人精神ヲ涵養シ士官候補生タルヘキモノヲ養成スル所トス今其教育ノ概要ヲ左ニ述ヘン
豫科又ハ地方幼年學校ニテハ倫理、國漢文、外國語(豫科ニ在リテハ獨、露ノ内一ケ國語、地方幼年學校ニ在リテハ獨、佛ノ内一ケ國語トス)歴史、地理、數學、博物、理化、圖畫、習字、竝ニ教練、體操、遊泳、軍隊内務等ヲ又本科ニ在リテハ倫理、國漢文(支那時文ヲ含ム)外國語(佛、獨、露ノ内一ケ國語)歴史、地理(地質ヲ含ム)數學(解析、幾何、重學ヲ含ム)理化、論理、圖畫(標高幾何ヲ含ム)并ニ教練、體操、遊泳及劍術、馬術、諸勤務等トス
- 三、生徒ハ凡テ校内ニ寄宿セシメ日曜、大祭祀日等ノ外出日ハ朝食後ヨリ夕食時迄外出ヲ許可セラル又夏期ニ於テ五週間冬期ニ於テ二週間休暇ヲ與ヘ歸省及旅行ヲ許可セラル
- 四、南葵育英會ニテハ中央幼年學校ノ近傍ニ進修學舍分舍ヲ設ケ同鄉將校監督ノ下ニ同校生徒、士官候補生及陸海軍主計候補生ノ爲外出日ニ於ケル休憩所ト爲シツツアリ
- 五、中央幼年學校豫科及地方幼年學校卒業ノ成績優等ナルモノニハ特ニ皇太子殿下ヨリ御賞賜アラセ

ラルルヲ例トス

六、三年ノ課程ヲ經タルモノハ其年ノ九月一日中央幼年學校本科ニ入學シ一年九ヶ月間教育ヲ受クルモノトス其要領概ネ地方幼年學校ニ同シ但冬期休暇ニ於テ歸省又ハ旅行ヲ許可セラルルコトナシ

七、中央幼年學校卒業ニ際シ成績優秀ナルモノニハ

陛下ヨリ御賞賜アラセラル、ヲ例トス

三、幼年學校卒業後士官學校派遣迄

一、中央幼年學校卒業後ハ士官候補生ヲ命セラレ各隊ニ配賦セラルルヤ專ラ下士兵卒ノ實務ノ見習ヲナスモノニシテ入隊後直チニ上等兵ノ階級トナリ二ヶ月ノ後伍長ノ階級ニ三ヶ月後軍曹ノ階級ニ進メラレ六ヶ月ノ後陸軍士官學校ヘ分遣セラルルモノトス

尙士官候補生在隊間ノ教育ニ就テハ其二ノ二ニ詳述シアアルヲ以テ參照スヘシ

二、士官候補生任命後ハ凡テ官費トス但シ各自一ヶ月二圓乃至三圓ノ小使ヲ要スルコト幼年學校ニ同

三、士官候補生トナリタル後尙南葵育英會ニ出願スレハ貸費セラルルモノトス（南葵育英會貸費規則參照）

第二節 選抜試験ニヨリ直ニ士官候補生トナルモノ

一、士官候補生志願者心得

イ、志願者ノ資格

士官候補生ヲ志願シ得ルモノハ次ノ如シ

一、中學校卒業者、學習院中等學科卒業者其他文部大臣ニ於テ各專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業

ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル學校卒業者並受験年ノ四月十日迄ニ以上ノ諸學校ヲ卒業スヘキ者

二、高等學校在學者及同卒業生

三、專門學校（音樂及美術ニ關スル專門學校ヲ除ク）本科在學者並同卒業者

四、實業專門學校本科在學者並同卒業者

五、一年志願兵中品行方正志操確實ナルモノニシテ隊長ノ保證ヲ得タル者

六、陸軍現役下士中中學校卒業以上ノ學力ヲ有シ品行方正志操確實ナル者ニシテ隊長又ハ所屬長官ノ

保證ヲ得タルモノ

年齢ハ滿十七年以上二十一年未滿ニシテ身長ハ検査當時ニ於テ五尺以上ナルヲ要ス但下士ニ限リ二十年未滿マテ受験スルコトヲ得

其年齢ノ數ヘ方ハ入隊ノ年ノ四月一日ヲ以テ定ム假令ハ大正五年十一月ニ願書ヲ差出シ大正六年度ニ受験スルモノトスレハ其年ノ十二月ニ入隊スルヲ以テ大正六年四月一日ヲ以テ計算スルモノトス

左ノ各項ニ該當スルモノハ採用セラレス

一、妻アル者

二、本人又ハ父若クハ戸主カ家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者及身代限リノ處分ヲ受ケ辯償ノ義務ヲ終ヘサル者

三、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四、素行修ラサル者

此ノ試験ハ中學校卒業ノ程度ニテ行ハル、モノトス其試験科目概ネ左ノ如シ

代數、幾何、三角、物理及化學、歷史、地理、圖畫、國語及漢文、作文、外國語學(英、獨、佛、露、支那語ノ内志願者ノ希望スルモノ一種ヲ限リ試験ス)
右ノ試験ハ全國ノモノヲ集メテ採點スルヲ以テ受験者ハ成績ノ如何ニ係ラス最終日マテ受験セサルヘカラス

ハ、希望兵種

一、陸軍ニハ步兵、騎兵、砲兵(野戰砲兵ト重砲兵トアリ)工兵、輜重兵、憲兵科(他兵科將校ヨリ轉科ス)ノ各兵科アリテ各其性能ヲ異ニス故ニ候補生ヲ志願スル時ニハ自己ノ希望スル兵科ヲ決定シ志願セサルヘカラス所屬隊ハ將校奉職中數々變更スト雖其兵科ハ全服役間轉換スルコトナシ故ニ志願ニ際シ慎重考慮シテ決定スルヲ要ス若親戚知人等ニ軍人アレハ就テ聽クヲ可トス然レトモ活動力ヲ有スル者ハ何レニ於テモ活動シ得ルヲ以テ過度ニ兵種ニ配慮スルハ無用ノ事ニ屬ス今左ニ參考ノ爲メ各兵種ノ性能ノ大要ヲ述ヘン
步兵ハ戰鬪ノ爲主ナル兵種ニシテ地形及時期ノ如何ヲ問ハス戰鬪シ得ルモノトス故ニ步兵ハ他ノ兵種ニ比シ人員最多ク戰場ニ於テハ勝敗ノ主動力ヲ爲スモノトス而シテ步兵ハ小銃及機關銃ヲ使用シ射撃及白兵ヲ以テ戰鬪スルモノニシテ元來我邦人ハ體格ニ於テハ歐洲人ニ比シ稍劣ルト雖モ我歩兵ハ過去二大戰役ノ結果精銳無比ヲ以テ世界ニ賞揚セラレタルモノトス
歩兵聯隊ニハ軍旗ヲ御親授アラセラレ優渥ナル勅語ヲ賜ハリ聯隊ニ在ル者ハ皆此軍旗ヲ團結ノ

中心トシテ軍旗ノ向フ所ハ水火モ辭セサル覺悟ヲ有ス

近衛步兵ハ禁闕ノ守衛ニ任セラレモノニシテ日本國民トシテ之ニ在ルモノハ此ノ上ナキ光榮トス
騎兵ハ乘馬セルカ爲運動迅速ナリ故ニ主トシテ敵情ノ搜索警戒又ハ通信等ノ役務ニ服ス即軍隊ノ耳目トス其戰鬪法ハ乘馬戰及徒步戰ノ二種ニシテ徒步戰ハ步兵ノ戰鬪法ニ類似スト雖モ乘馬戰ハ馬上大刀ヲ揮ヒ敵ヲ襲撃スルモノニシテ實ニ戰場ノ花トス又時トシテハ敵地ニ深く入り道路鐵道電線等ノ破壞ニ任スルコトアリ武器トシテハ騎銃、刀、機關銃(平時近衛騎兵ハ鎗ヲ携フ)ヲ携フ尙馬モ騎兵ニ取リテハ緊要ナル活動ノ武器トス即馬ノ速力ニ依リテ敵ノ不意ニ出テ之ヲ蹂躪スルモノトス
軍旗ニ關シテハ步兵ト同一トス又近衛騎兵ハ常ニ鹵簿ノ儀仗兵タル榮譽ヲ荷フモノトス
砲兵ハ各種ノ火砲ヲ以テ戰鬪スル兵種ニシテ遠距離ヨリ效力大ナル彈丸ヲ發射シ人馬ヲ殺傷シ敵ノ陣地其他種々ノ構築物ヲ破壞スルモノトス而シテ其彈丸ノ敵陣ニ於テ破裂スルヤ敵ヲ損傷セシムル外其猛烈ナル爆音ハ敵ヲ震駭セシメ大ニ友軍ノ志氣ヲ振起スルモノトス故ニ獨立シテ戰鬪ノ勝敗ヲ決スルコト能ハスト雖戰場ニ於テ必須ノ兵種ニシテ其援助ニ依リ步兵ハ前進シテ其威力ニ依リ保壘、砲臺ヲ破壞シ戰鬪ヲ進捗スルモノニシテ實ニ戰鬪ノ骨幹ト稱セラル近來築城術ノ進歩ニ伴ヒ一層砲兵ノ破壞效力ハ其價値ヲ増加シ來レリ
砲兵ハ野戰砲兵ト重砲兵ニ分チ野戰砲兵ハ更ニ野砲兵ト山砲兵トニ分ツ重砲兵ハ戰時使用スル火砲及任務ニ依リ野戰重砲兵、攻守城重砲兵及海岸重砲兵ニ區分セラル
工兵ハ其技術的能力ヲ發揮シテ全軍戰勝ノ途ヲ開ク兵種トス即道路ヲ開キ橋梁ヲ架シ以テ他兵種ノ行動ヲ便易ニシ其他攻撃ノ據點ヲ造リ陣地ノ支撐點ヲ築キテ以テ其戰鬪力ヲ増進シ殊ニ近接至難ナ

ル敵壘ニ對シテ諸般ノ破壊工事ヲ實施シ步兵ノ爲ニ肉薄突撃ノ自由ヲ與ヘテ戰局ノ進捗ヲ容易ナラシムルニハ缺クヘカラサルモノトス又時トシテ步兵ト同シク銃ヲ執ツテ戰闘ヲ爲スコトアリ

工兵ノ特別部隊トシテ交通兵(鐵道隊、電信隊及航空隊等)アリ

鐵道隊ハ戰地ニ於テ鐵道ノ築設、修繕、破壞及運行等ニ任ス電信隊ハ戰地ニ於テ電信ノ架設、通信ノコトヲ掌リ航空隊ハ航空機ヲ使用シテ偵察、通信ノ勤務ニ服シ又ハ爆彈投下ニヨリ敵ニ大損害ヲ

與フルモノトス(飛行機飛行船ノ操縦將校ハ各兵科ヨリ撰拔セラル、モノトス)

輜重兵ハ直接戰闘動作ニ參與セサルモ軍隊ニ必要ナル彈藥、糧食、衛生材料及諸般ノ軍需品ノ運搬ニ任セラレ所謂蕭荷ノ任ヲナスモノニシテ作戰上緊要ナルモノトス實ニ此兵種アルカ故ニ他ノ戰闘

兵カ活動シ得ルモノトス時トシテ自ラ敵ヲ搜索シ其携帶セル火器ト白兵ヲ使用シテ敵ヲ擊退シ得ルコトアリ

二、志願者ノ參考トシテ陸軍常備團隊配賦表ヲ掲ク其内○印ヲ附セルハ候補生ヲ採用セサル隊トス

(附表第二參照)

二、願書ノ差出シ方

一、士官候補生ヲ採用スル人員ハ年ニ依リ差アリ概ネ前年ノ十月頃官報ヲ以テ發表セラル大正六年度ハ二百二十一名トス志願者ハ附表第三、第二ノ様式ニヨリ願書及履歷書ヲ調製シ之ニ戸籍謄本ヲ添

ヘ受験年ノ前年ノ十一月三十日迄ニ本籍地ノ市町村長ニ差出シ學校長ニ成績證明ヲ願出ツヘシ

二、學校長ハ志願者ヨリ成績證明ヲ願出テタルトキハ證明書(第四様式)ヲ檢査ヲ受クヘキ前年十二月二十日迄ニ之ヲ本籍地ノ聯隊區司令官ニ送付スルモノトス

三、身元保證人ハ本人ノ父母或ハ其他ノ者ニシテ一家ヲ爲シ身元確實ナルモノナラサルヘカラス又志願者ハ相互ニ保證人タルコトヲ得ス又出願當時二十歳未満ノ志願者ナルトキハ保證人ノ中一人ハ親

權者又ハ後見人ナラサルヘカラス尙陸軍部内ニアリテ志願スル者例令ハ下士ヨリ志願スル者ハ保證人ヲ要セス但出願當時二十歳未満ナルトキハ親權者又ハ後見人ノ連署ヲ要ス

四、市町村長ハ試驗全濟者ニ付身元明細書(第五様式)ヲ作り町村長ハ之ヲ郡長ニ差出シ郡市長ハ六月十日迄ニ之ヲ聯隊區司令官ニ差出スモノトス

ホ、檢査場、願書呈出後異動ヲ生シタルトキノ處置及受験要領

檢査場、願書差出後異動ヲ生シタルトキ及受験ノ要領概ネ幼年學校ノモノニ同シ但左ノ件ヲ異ニス

一、陸軍部内ノ志願者ハ身體檢査ノ際寫眞ヲ差出スヲ要セス

二、學科試驗ハ毎年四月十一日ヨリ約一週間ニ亘リ施行セラル志願者ハ其際毛筆、鉛筆、ペン、黒インキ、硯(墨共)又ハ墨池、小刀、圖引具、三邊板(米突尺共)等ノ材料ヲ携フルコトヲ得其他ノ書類

白紙等ハ一切携行スルコトヲ得ス

ハ、成績發表

成績ノ發表即チ合格者ノ人名ハ大抵七、八月頃ニ官報ヲ以テ發表セラレ其配屬兵科及隊號ハ通常其後

ニ至ツテ更ニ官報ヲ以テ發表セラル、モノトス而シテ市町村長ヲ經テ本人ニ達セラル、要領ハ幼年學校生徒ニ同シ

二、入隊ヨリ士官學校派遣迄

一、合格セル者ハ十二月一日命セラレタル隊ニ入營シ或ル中隊ニ配屬セラレ中隊長ハ其訓育ヲ擔任ス

士官候補生隊附ノ目的ハ他日國家ノ干城タルヘキ將校ノ素地ヲ作ル爲ノ人物ヲ練成スルニアリ即チ堅實ナル志操、高潔ナル品性ヲ養成シ且階級相當ノ勤務學術科ヲ教育シ士官學校教育ノ基礎ヲ開クニ在リ之レ將校タルモノハ自ラ下士兵卒ノ起居動作ヲ實踐シテ之ニ習熟シ又各階級ニ應スル職務服行ノ法ヲ知リ初メテ統御術ヲ了得シ得ルモノトス殊ニ軍隊ニ最モ必要ナル精神上ノ教育ニ至ツテハ下士兵卒ノ狀態ヲ十分知悉スルニアラサレハ到底其目的ヲ達スル能ハサルモノトス之レカ爲士官候補生ヲ一ケ年(幼年學校出身者ハ六ケ月)軍隊ノ勤務ニ服セシメ各職域ニ應スル事實ヲ研究セシメ且將校團ノ薰陶ヲ得セシムル所以ナリ士官候補生ハ將校團ノ後繼者ナルヲ以テ其教育ハ大ニ重大視セラレ將校團長ヨリ其教育ヲ委任セラレタル教育者ハ勿論専心之ニ從事スト雖將校團ノ全將校悉ク其ノ誘掖指導ニ意ヲ致スモノトス

二、在隊間士官候補生ノ學科ハ十二月入營ヨリ三月下旬マテ第一期間ハ初年兵ト同一ニ授ケラル此際ハ初年兵ナルモノ、學力及其教育法ヲ知ルニ良好ノ機會トス第二期ニ入りテ將校團長ノ選拔セル軍事學教官ヨリ主トシテ下士ノ勤務ヲ履行スルニ必要ナル智能ヲ與ヘラル、モノトス

三、十二月一日入營セル士官候補生ハ直ニ一等卒ノ階級ニ置カレ六月上旬ニ上等兵八月一日伍長十月一日軍曹ノ階級ニ進ミ十二月一日士官學校ニ入校スルニ至ルモノトス

四、士官候補生ノ居室ハ特別ニ設ケラレ掃除、物品ノ清拭ハ兵卒之ヲナスト雖勤務實習ノ爲ニスル兵器、馬、被服及裝具ノ手入等ハ候補生自ラ之ヲ行フモノトス
候補生ノ取扱ハ勤務外ハ一般下士兵卒ト異ナリ常ニ將校團ノ子弟トシテ將校ト儿案ヲ同シクシ食卓ヲ共ニスルモノトス此際候補生ノ注意スヘキコトハ言語ノ應對ヲ慎ミ應分ノ敬意ヲ表シ決シテ狎昵

ニ流レサルニ在リ

五、十一月初旬ヨリ秋季演習ニ參加シテ山野ヲ跋渉シテ學術ヲ實地ニ應用シ大ニ身體ヲ鍛鍊シテ屯營ニ歸レハ士官學校入校ノ期ハ眼前ニ迫ルニ至ルヘシ

六、士官候補生ヲ任命セラルルヤ凡テ官費トス但一ケ月二圓乃至三圓ノ小使ヲ要ス若南葵育英會ニ出願スレハ貸費セラルルモノトス(南葵育英會貸費規則參與)

第二章 士官學校生活

一、陸軍士官學校ハ一年六ケ月ニシテ各兵科ノ士官候補生ヲ收容シテ初級士官ニ必要ナル學術ノ教育ヲナス所トス

二、職員左ノ如シ

校長(少將)、副官(大、中尉)、教官(中佐、大尉、教授)、生徒隊長(大佐)、生徒隊附少佐、生徒隊副官(大尉)、生徒隊中隊長(大尉)、生徒隊附中尉、主計、軍醫、獸醫、准士官、下士及判任文官

三、生徒ハ生徒隊ニ編入シ之ヲ若干中隊ニ分ツ而シテ中隊ハ六區隊ニシテ一區隊ニハ三十名内外トス中隊ニハ區隊長タル各兵科ノ中尉ト數名ノ下士ヲ隸屬セラル教官ニハ武官ト文官トアリ武官ハ軍事學馬術等ヲ文官ハ專ラ外國語學ノ教授ヲナス

四、十二月一日全國ノ候補生ハ勇奮東都市ヶ谷ノ臺ニ參集シ校門ヲ通過スレハ土地高燥老樹鬱蒼トシテ尙武ノ別世界ニ入ルノ感アラシ

翌日新舊生徒ハ中庭ニ整列シ入校式ヲ舉行セラル次テ檢定試驗アリ其科目ハ代數、平面幾何、物理化學、作文、外國語及陣中要務令、操典、教範トス普通學ハ士官候補生召募試驗ノ程度ニシテ軍事

學ハ在隊中ニ學ヒシ事項トス右ノ課目中尤モ程度ノ差アルハ語學ニシテ入學後其程度ニヨリテ差別ヲ附シ英語七班、佛、獨五班、露語二班、支那語二班ニ別タルルヲ常トス此際中學出身者ハ殆ント英語ナルヲ以テ此人員ヲ平均スル爲メ他ノ語學ニ轉セシメラルルコトアリ檢定試驗ノ得點ノ十分ノ一ハ前期試驗成績ニ加ヘラルルモノトス

五、生徒ニ教授スル學科ハ次ノ如シ

戰術學、軍制學、兵器學、築城學、交通學、地形學、馬學、衛生學、外國語學、服務提要

六、學期ハ每年十二月一日生徒入校ノ日ヨリ翌々年五月下旬卒業式當日ニ互ル十八ヶ月ニシテ左ノ三期ニ分タル

前期	十二月一日ヨリ第二年五月上旬ニ至ル	約六ヶ月
中期	五月上旬ヨリ同年十一月中旬ヨリ	約六ヶ月
後期	同年十一月下旬ヨリ第三年五月下旬ニ至ル	約六ヶ月

各期ノ終リニ於テ期末試驗ヲ施行ス後期末試驗ヲ特ニ卒業試驗ト稱ス

前期中期後期間成績ノ和ハ卒業ノ成績トス

七、士官學校ノ起居ハ頗ル嚴格ナルモ其要領毫モ軍隊ト異ナルコトナシ而シテ休日及祝祭日ハ朝食後ヨリ夕食マテ外出ヲ許可セラレ又夏期ニ於テ三週間休暇アリ歸省旅行ヲナシ得

南葵育英會ヨリ進修學舍分舍ヲ士官學校近傍ニ設置シ休日ニ於ケル休憩所ニ充テ同郷將校監督ノ下

ニ陸海軍主計候補生及幼年學校生徒ト共ニ休憩スルモノトス

八、在校中校外ニ出張スル主ナルモノハ左ノ如シ

前期ニ於テ	測板測圖演習ノ爲	十一日
中期ニ於テ	工兵作業見學ノ爲	一日
	略測圖演習	九日
	現地戰術	七日
	游泳	十四日
	兵器製造見學	三日
	習志野ニ野營演習	一ヶ月
	交通兵隊見學	二日
	現地戰術	十日

七日間ハ游泳ト同時ニ行フ

游泳ト同時ニ行フ

後期ニ於テ

習志野ニ野營演習	一ヶ月
交通兵隊見學	二日
現地戰術	十日

其他砲臺、重砲海岸射擊、飛行機見學、皇城振天府、御苑ノ拜觀等アリ

九、卒業式ニハ 聖上陛下ノ御臨幸ヲ辱フシ皇族殿下ヲ始メ文武大官ノ面前ニ於テ證書ヲ附與セラレ其成績優秀ナルモノニハ特ニ 陛下ヨリ賞賜アラセラルルヲ例トス

卒業生徒ハ先ツ年來ノ希望ノ一端ヲ果シ得テ其喜ヒヤ大ナルモノアリ入校以來一年有半過去ヲ追想シ實ニ萬感交々胸ニ到ルヲ覺ユルナラン

式後校長始メ職員、來賓ト食卓ヲ共ニシ 陛下ノ萬歲ヲ三唱シ互ニ告別シ各自原隊ニ復歸ス

第三章 士官學校卒業ヨリ少尉任官迄

一、士官學校卒業歸隊セハ直チニ曹長ノ階級ニ進ミ見習士官ヲ命セラレ各中隊ニ配屬セラレ爾後所屬中隊長カ主トシテ其教育ヲ擔任スルモノトス

士官ノ見習ナルヲ以テ待遇ハ士官ト同一トス通常一室ヲ居室トシテ與ヘラレ將校室ニ於テ中隊附將校ト共ニ服務ス

二、見習士官ノ教育ハ隊務ヲ實際ニ習得シ且既ニ學ヒ得タル軍事上ノ學識技能ヲ益々増進セシメ初級士官トシテノ性格技能ヲ備ヘシムルニ在リ故ニ將校團長ハ將校中ノ適任者ヲ選ンテ各本科ニ要スル典令範ノ深厚ナル研究ヲナサシメ又將校團教育ニモ加ヘ教育スルモノトス見習士官時代ニハ主トシテ下士以下ノ教育及實兵指揮ニ習熟シ其要領ヲ實際會得スルヲ緊要トス

三、十一月下旬各將校團ニテ將校銓衡會議ヲ施行セラレ其隊ノ將校全部出席シテ見習士官ノ考科ニ就キ會議シ任官ノ可否ヲ決定スルモノトス

四、十二月下旬少尉ニ任官スルナラン此布達ノ日將校團長ハ其隊全部ヲ整列セシメ任官命課ノ旨ヲ全隊ニ告達ス新任少尉ハ燦然タル正裝ヲ着シ毅然トシテ其隊ノ前ニ立チ威風附近ヲ拂フモノアラン豈快ナラスヤ

五、見習士官中ハ月額四圓五錢ノ手當ヲ給セラレ少尉ニ任官セハ服裝手當トシテ二百五十圓、乘馬本分者ニ在リテハ外ニ馬裝手當トシテ八十圓ヲ給セラレ而シテ少尉ノ俸給ハ月額四十圓、宅料三圓五十錢トス

第一様式 (用紙美濃白紙)

陸軍地方幼年學校(陸軍中央幼年學校豫科)生徒願

氏 名 儀

陸軍地方幼年學校(陸軍中央幼年學校豫科)生徒志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕候仍テ戶籍謄本、履歷書相添ヘ此段奉願候也

本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地
現住地 府(縣)郡(市)町(村)番地

戶主 誰 子 弟 族 稱 職業

年 月 日

年 月 日 氏 名 印

親權者又ハ後見人 保證人 氏 氏
族稱、職業(官職等)

名 印

教育總監爵 氏 名 殿

追テ左ノ通希望致候也
受驗場 何地

入校後ノ外國語學 年 月 日

佛(獨)(露)語 府(縣)郡(市)町(村)長 氏

名 印

志願者ニシテ陸海軍將校同相當官及陸軍准士官下士並高等文官ノ養子ナルトキハ本人ノ氏名ノ肩書ニ「養子」又ハ「家督相續者タル養子」ト記スヘシ

第二様式 (用紙美濃白紙)

履 歷 書

- 一、何年何月何學校へ入學何年何月日同校卒業
 - 一、何年何月何日何學校何學年ヨリ何學校ニ入學何年何月日同校卒業
 - 一、何年何月何日何所ニ於テ何研究
 - 一、何年何月何日何々ニ從事ス
 - 一、何年何月何日何々ニ依リ賞(罰)等
- (右ノ例ニ依リ履歷ニ關スル事項ヲ悉ク記スヘシ)
右之通相違無之候也

年 月 日

本 人 氏 名 印

保 證 人 氏 名 印

第三様式 (用紙美濃白紙)

士官候補生(主計候補生)願

士官候補生(主計候補生)志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可

氏 名 儀

表

20
19
18
17
16
15
14
13



附表第一

考備	幼學年				幼學年				年 齡	
	者 ト ナ ル	補 官 候 生	官 士 直	シ テ 直	幼 學 年	幼 學 年	幼 學 年	幼 學 年		
一、年齢志願者ノ満年ヲ示ス 二、六月、九月、十二月ハ其曆年ノ曆月ヲ示ス									25	
		尉少								24
		尉少	尉少							23
		校官	尉少	尉少						22
		附隊	校官	尉少	尉少					21
		尉少	校官	尉少	尉少					20
		尉少	校官	尉少	尉少					19
		尉少	校官	尉少	尉少					18
		尉少	校官	尉少	尉少					17
		尉少	校官	尉少	尉少					16
		尉少	校官	尉少	尉少					15
		尉少	校官	尉少	尉少					14
		尉少	校官	尉少	尉少					13

陸軍將校出身早見表

志願者ニシテ陸海軍將校同相當官及陸軍准士官下士並高等文官ノ養子ナルトキハ本人ノ氏名ノ肩書
 ニ「養子」又ハ「家督相續者タル養子」ト記スヘシ
 第二様式 (用紙美濃白紙)
 履 歴 書
 一、何年何月何學校へ入學何年何月何日同校卒業
 一、何年何月何日何學校何學年ヨリ何學校ニ入學何年何月何日同校卒業
 一、何年何月何日何所ニ於テ何研究
 一、何年何月何日何々ニ從事ス
 一、何年何月何日何々ニ依リ賞(罰)等
 (右ノ例ニ依リ履歴ニ關スル事項ヲ悉ク記スヘシ)
 右之通相違無之候也

年 月 日
 本 人 氏
 保 證 人 氏
 名 名 名
 印 印 印

第三様式 (用紙美濃白紙)
 士官候補生(主計候補生)願
 士官候補生(主計候補生)志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可
 氏 名 儀

仕候仍テ戸籍謄本、履歷書相添へ此段奉願候也

年 月 日

本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地
現住 府(縣)郡(市)町(村)番地
戸主 戸主ニ非サルトキハ
子弟 族稱、職業(官職等)

年 月 日 名 印

親權者又二十歳未滿ハ後見人(ノ者ニ限ル) 保 證 人 氏 名 印

同 保 證 人 氏 名 印

陸軍大臣 爵 氏 名 殿 保 證 人 氏 名 印

追テ左ノ通希望致候也

受驗外國語 英(獨)(佛)(露)(支那)語 何 地

受驗場(陸軍部外ノ志願者ニ限ル)

希望兵種(士官候補生志願者ニ限ル)

年 月 日

府(縣)郡(市)町(村)長 氏 名 印
(部隊長)

第四様式 (用紙美濃白紙)

何志願者證明書		志願者	本籍地族稱	氏名
入學年月	卒業年月若ハ目下ノ學級	卒業試験若ハ最後ノ學年	學級總員何人中ノ何番	未タ卒業セサル者ニ在リテハ目下ノ學級ノ外卒業スヘキ豫定年月ヲモ併記ス
得意ノ學科及特有ノ技能	性質	賞罰ノ概略ヲモ記ス	前記事項以外ノ必要事項ヲ記入ス	志願者ノ人格及學科進歩等ニ付校長ノ所見ヲ記入ス
備考	行	見		

右之通相違無之候也

年月日

學校所在地

何立何學校長 氏

名印

第五様式 (用紙美濃白紙)

何志願者府縣族稱何誰身元明細書		本人ノ品行	氏名職業ノ種類	假ハハ商ニ在リテハ其ノ種類、官吏公吏ニ在リテハ何官何職何所奉職等詳細記シ死者ニ付テモ生前ノ職業ヲ記入スヘシ
父	養父繼父アル者ハ各別ニ記入スヘシ	母	養母繼母嫡母アル者ハ各別ニ記入スヘシ	右ニ準ス
兄弟姉妹	右ニ準ス但シ戸籍内ニ在ル者ニ限ル	戸主	前記以外ノ者戸主ナルトキ	右ニ準ス
罰	犯罪及處刑有無	本人、父母、戸主、兄弟姉妹何罪ヲ犯シ何年何月何日何刑ニ處セラル其ノ他何罪ヲ犯シ審議中等未タ處刑セラレサル者ニ在リテモ其ノ旨ヲ併セテ詳記スヘシ	家政ニハ家庭ノ整合、家庭内外ノ教育状態、傲奢、勤儉、品性、禮儀、交際、近隣ノ毀譽等成ルヘク其ノ真相ヲ知リ得ル如ク明瞭ニ記述シ家計ニハ本人、戸主及戸主以外ノ扶養者ニ分チ「財産」トシテ動産不動産各見積價格所得金トシテ一年ノ收入額ヲ舉ケ之ニ依リテ生活スル家族ノ人員及當該地方一般ノ生活費用其ノ他負債ノ有無、家事經濟ノ状態ヲ参照シテ詳細意見ヲ記入スヘシ	戸籍ヲ異ニスル者ヨリ扶養ヲ受クル場合ニハ本人トノ續柄及財産所得金ヲ記入スルノ外全部扶養ナルカ又ハ一部ノ補助ナルカヲ明ニスルヲ要ス
況現ノ計家及政家	團體ヨリ扶助ヲ受クル場合ニハ其ノ關係事項並同團體ノ性質ヲ記入スヘシ			

右之通調査證明候也

年 月 日

府(縣)郡(市)町(村)長 氏

名印

聯隊區司令官ノ所見

年 月 日

聯隊區司令官 氏

名印

第一 中央幼年學校豫科生徒地方幼年學校生徒志願者ニ在リテハ本書身分ノ欄父ノ下ニ左ノ事
 一 項ヲ記載スヘシ
 一 戰死及戰傷ニ依リ死歿シ又ハ戰役中危難ヲ冒シタルニ基因シテ死歿シタル陸海軍將校、同
 一 相當官、高等文官、陸軍准士官下士若ハ現職中公務ノ爲ニ死歿シタル陸海軍將校同相當官若
 一 増加恩給權ヲ得テ死歿シタル陸海軍將校同相當官若ハ恩給權ヲ得テ死歿シタル陸海軍將
 一 校同相當官ハ年月ヲ分テ其ノ略歴
 一 前項ノ事由以外ニ於ケル高等官タリシ死者ハ特ニ國家ニ功勞アリタル要項ニ對シ年月ヲ分
 一 テ其ノ略歴
 一 現職ニ在ル陸海軍尉官同相當官ニ在リテハ其ノ官等並職名又恩給權ヲ得タル陸海軍尉官同
 一 相當官ニ在リテハ其ノ官等並職名又名譽進級ヲ爲シタル陸海軍少佐同相當官ニ在リテハ其
 一 ノ旨
 一 増加恩給權ヲ得タル陸軍准士官下士及任官後十五年以上隊附職務ニ精勤シタル陸軍下士ニ
 一 在リテハ其ノ略歴
 第二 中央幼年學校豫科生徒及地方幼年學校生徒志願者ニシテ其ノ兄弟現ニ中央幼年學校又ハ
 第二 地方幼年學校ニ在學スル者アルトキハ其ノ旨ヲ記入スヘシ
 第三 市町村長ハ本書證明ニ必要ナル事項ハ裁判所、警察署等ニ照會シ寄留者ノ爲ニハ寄留地
 一 市町村長ニモ照會シ又聯隊區司令官ハ寄留者ノ爲ニ調査上必要アルトキハ寄留地聯隊區司令官
 一 ニ照會スル等手段ヲ盡シテ其ノ事實ヲ確ムルコトヲ要ス

第二篇 陸軍經理部將校相當官トナル經路

陸軍主計タラント欲セハ先ツ主計候補生トナリ隊附勤務ヲナシタル後陸軍經理學校ヲ卒業シ見習主計
 トナルヲ要ス主計候補生志願者ノ資格、試驗科目及程度、受験手續其他ノ要領ハ概ニ選抜試驗ニ依リ
 直ニ士官候補生トナルモノニ同シ其特ニ異ナル點ヲ舉クレハ左ノ如シ。

- 一、主計候補生願書ニハ希望兵種ヲ記スルコトナシ
- 二、主計候補生ヲ命セラル、ヤ師團司令部所在地ノ歩兵聯隊ニ配賦シ概ネ九月間該隊ニ於テ士官候補
 生ト共ニ同一ノ勤務及軍事學ヲ習得セシムルモノトス
- 三、主計候補生入隊後直ニ一等卒ノ階級ヲ與ヘラレ、概ネ六ヶ月ノ後上等兵ノ階級、概ネ八月ノ後三
 等計手ノ階級、經理學校派遣前二等計手ノ階級ニ進ムヲ常トス
- 四、經理學校ニテハ陸軍經理部初級士官タルニ必要ナル教育ヲ受ク其修業年限ハ一年九ヶ月トス
- 五、經理學校ヲ卒業歸隊セハ一等計手ノ階級トナリ見習主計ヲ命セラレ概ネ六ヶ月間所屬隊及當該師
 團經理部ニ於テ經理部士官ノ勤務ヲ習得シタル後師團經理部所在地ニ於ケル一等主計以上ヲ以テス
 ル經理部士官詮衡會議ヲ經テ三等主計ニ任セラレ各隊ニ配賦セラル、モノトス

第二篇 陸軍衛生部(獸醫部)將校相當官トナルノ經路

衛生部(獸醫部)士官ハ見習醫官又ハ見習藥劑官(見習獸醫官)ニシテ概ネ六ヶ月間士官ノ勤務ニ服シタ
 ル後中尉相當官又ハ少尉相當官ニ任ス

(イ)見習醫官又ハ見習藥劑官ハ年齡滿二十年以上三十年未滿(帝國大學又ハ外國ノ大學ヲ卒業シタル者ニ在リテハ滿二十年以上三十五年未滿)、身長五尺以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ採用ス

一、帝國大學醫科大學學生ニシテ陸軍衛生部依託學生トナリ同大學ヲ卒業シタル者

二、官立、公立又ハ醫師法第一條若ハ藥品營業並藥品取扱規則第四十六條ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校又ハ藥學專門學校ノ生徒ニシテ陸軍衛生部依託生徒トナリ同學校ヲ卒業シタル者

三、軍醫生又ハ藥劑生タル一年志願兵

四、前各號ニ該當セサル者ニシテ帝國大學醫科大學若ハ第二號ノ學校ヲ卒業シタル者又ハ外國ノ醫學校若ハ藥學校ヲ卒業シ醫師免狀ヲ有スル者但准士官、下士、兵卒ヲ除ク

第四號該當者ニシテ見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ志願スルモノハ第一、第二樣式ノ書類ニ卒業證書寫ヲ添ヘ五月一日ヨリ五月三十一日迄ニ本籍地市町村長ニ又軍醫生、藥劑生ニ在リテハ第一、第二樣式ノ書類ヲ六月十日マテニ隊長ニ差出スヘシ

見習醫官又ハ見習藥劑官ハ陸軍大臣之ヲ命シ師團司令部所在地ノ步兵聯隊ニ配賦シ所屬隊及衛戍病院ニ於テ衛生部士官ノ勤務ヲ習得セシメ帝國大學醫科大學ヲ卒業シタル者及外國ノ醫學校又ハ藥學校ヲ卒業シ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ在テハ二等軍醫又ハ二等藥劑官ニ其他ノ者ニ在リテ三等軍醫又ハ三等藥劑官ニ任セラル、資格ヲ具フルモノトス

(ロ)見習獸醫官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス其年齡、身長等見習醫官ニ同シ

一、帝國大學農科大學獸醫學科學生ニシテ陸軍獸醫部依託學生ト爲リ同學科ヲ卒業シタル者

二、帝國大學農科大學獸醫學科生徒又ハ官立實業專門學校獸醫學科生徒ニシテ陸軍獸醫部依託生徒トナリ同學科ヲ卒業シタル者

三、獸醫生タル一年志願兵

四、前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若ハ第二號ノ學科ヲ卒業シタル者又ハ外國ノ獸醫學校ヲ卒業シ獸醫免狀ヲ有スル者 但准士官、下士、兵卒ヲ除ク

見習獸醫官志願ノ要領ハ衛生部ニ同シ

見習獸醫官ハ陸軍大臣之ヲ命シ師團司令部所在地ノ騎、砲、輜重兵隊ニ配賦シ該隊ニ於テ獸醫部士官ノ勤務ヲ習得セシメタル後士官トナスノ要領ハ衛生部ニ準ス

(ハ)衛生部(獸醫部)依託學生及生徒志願者心得

一、衛生部(獸醫部)依託學生及生徒ノ要員ハ陸軍大臣之ヲ分科大學長又ハ學校長ニ通牒シ志願者ヲ召募ス

衛生部(獸醫部)依託生徒ハ當該學校第二學年以上ノ者ヨリ召募スルヲ例トス

二、志願者ハ年齡滿十八年以上二十八未滿ニシテ身長五尺以上ナルヲ要ス

三、志願者ハ願書第一樣式ニ戸籍謄本及履歷書第二樣式ニ證書第三樣式ヲ添ヘ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ

四、市町村長ハ前項ノ書類ヲ調査シ證印ヲナシ身元明細書ヲ作り郡長ニ差出シ郡市長ハ速ニ之ヲ當該分科大學長又ハ學校長ヲ經テ當該分科大學又ハ學校所在地所管師團ノ軍醫部長(獸醫部長)ニ差出スヘシ師團軍醫部長(獸醫部長)ハ前項書類ヲ審査シ本人ノ學力、志操、性行等ヲ調査シ師團長ノ認可ヲ受ケ志願者ヲシテ最寄部隊附軍醫ノ身體検査ヲ受ケシメ其體格検査表及一切ノ書類ヲ取

纏メ師團長ニ提出シ師團長ハ之ニ意見ヲ附シ速ニ陸軍大臣ニ提出スヘシ
 五、陸軍大臣ハ志願者中採用スヘキ者ヲ定メ當該分科大學又ハ學校所在地所管師團長、當該分科大
 學長又ハ學校長ヲ經テ本人ニ達ス
 六、依託學生及生徒ハ當該分科大學又ハ當該學校ノ一般ノ規定ニ從ヒ修學セシム
 七、依託學生又ハ生徒ニハ授業其他一切ノ費用ニ充ツル爲左ノ金額ヲ支給ス

依託學生 月額二十圓
 依託生徒 月額十五圓

第一様式 (用紙美濃白紙)
 見習醫官(見習藥劑官) (見習獸醫官) (衛生部依託學生)
 (衛生部依託生徒)(獸醫部依託學生)(獸醫部依託生徒)願

氏名儀

見習醫官(見習藥劑官)(見習獸醫官)(衛生部依託學生)(衛生部依託生徒)(獸醫部依託學生)(獸醫部依託生徒)願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕候仍テ戶籍謄本、履歷書、卒業證書(卒業證書ヲ有スル者ニ限ル)寫添ヘ此段奉願候也

本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地
 現住地 府(縣)郡(市)町(村)番地
 戶主 戶主ニ非サルトキハ弟族稱、職業(官職等)
 氏名

年 月 日

年 月 日生

名 印

本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地
 現住地 府(縣)郡(市)町(村)番地
 族稱 職業(官職業)
 親權者又ハ後見人(二十歳未満ノ志願者ニ限ル)保證人 氏 名 印
 同
 保證人 氏 名 印

陸軍大臣爵 氏 名 殿

年 月 日

府(縣)郡(市)町(村)長 氏

名 印

第二様式 (用紙美濃白紙)

履 歷 書

(陸軍部内ノ志願ニ在リテハ市町村長ノ證明及保證人ヲ要セス)
 一何年何月何日何學校へ入學何年何月何日同校卒業
 一何年何月何日何學校何年學級ヨリ何學校何年學級ニ入學何年何月何日同校卒業
 一何年何月何日何所ニ於テ何研究
 一何年何月何日何ニ從事ス
 一何年何月何日何ニ依リ賞(罰)等
 (右ノ例ニ依リ履歷ニ關スル事項ハ悉ク記スヘシ)

右之通相違無之候也

年 月 日

第三様式 (用紙美濃白紙)

證書 (收入印紙貼用)

本人 氏
保證人 氏
證人 氏

名印
名印
名印

氏名 儀

衛生部(獸醫部)依託學生(生徒)被命候後陸軍召募規則第六十九條ニ依リ納金被命候節ハ御規定ノ通可相納萬一事情ニ依リ納兼候節ハ保證人ニ於テ可相納候

月 日

本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地
現住地 府(縣)郡(市)町(村)番地
族稱、職業(官職等)

本人 氏

名印

本籍 府(縣)郡(市)町(村)番地
府(縣)郡(市)町(村)番地

保證人 氏

名印

同 保證人 氏

名印

陸軍大臣 爵 氏 名殿

(保證人ハ願書ニ記載シタル保證人ト同一ノ者ナルコトヲ要ス)

第四篇 海軍將校同相當官トナルノ經路

第一章 總 說

- 一、少尉及機關少尉ハ各其候補生ヨリ他ノ少尉相當官(少軍醫、少藥劑士、少主計、造船少技士、造兵少技士ハ各其候補生及左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ身體檢査ノ上任用ス
 - 一、私費ヲ以テ外國ニ留學シ相當ノ學術ヲ修メタルモノニシテ採用試験ニ合格シタル者
 - 但適當ノ卒業證書ヲ得タル者ハ試験ヲ用ヒス採用スルコトヲ得
 - 二、帝國大學附屬醫學專門部官公立醫學專門學校若ハ醫師法ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校ヲ卒業シタル者
 - 三、高等商業學校等ヲ卒業シタル者
 - 四、文官高等試験ノ合格證書ヲ有スル者
- 但帝國大學ニ於テ海軍高等武官タルニ必要ナル學術ヲ修メ卒業シタル者、私費ヲ以テ外國ニ留學シ相當ノ學術ヲ修メタル者ニシテ試験ノ上帝國大學ノ課程ヲ卒リタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スト認ムル者(但適當ノ卒業證書ヲ有スル者)及高等商業學校研究科ヲ卒業シタル者ハ採用委員ノ詮衡ヲ經テ海軍中尉相當官ニ任セラレ、モノトス
- 右採用ノ必要アルトキハ海軍大臣之ヲ告示ス
- 又左ニ掲クル者ハ採用セラレス
- 一、年齢滿二十年未滿ノ者

- 二、採用スヘキ官ノ現役定限年齢前八箇年以内ノ者
- 三、禁錮以上ノ刑ヲ受ケタル者又ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
- 四、復權ヲ得サル家資分散者、破産者、若ハ身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者若ハ其相續人

二、候補生ノ補充

候補生ハ左ニ掲クル者ヨリ採用シ一箇年以上實務ヲ練習セシム

- 一、海軍兵學校ノ全學科ヲ卒業シタル者（少尉候補生）
 - 二、私費ヲ以テ外國ニ留學シ相當ノ學術ヲ修メ卒業シタル海軍出身志願者（少尉、機關少尉、少主計候補生）
 - 三、海軍機關學校ノ生徒ニシテ其全學科ヲ卒業シタル者（機關少尉候補生）
 - 四、醫師免許證若ハ醫術開業免狀ヲ有スル者（少軍醫候補生）
 - 五、藥劑師免狀ヲ有スル者（少藥劑士候補生）
 - 六、海軍經理學校ノ生徒ニシテ其業ヲ卒ヘタル者（少主計候補生）
 - 七、官立、公立中學校若ハ之ト同等以上ト認ムル學校ヲ卒業シ且法律學、經濟學ヲ修メタル者（少主計候補生）
- 但海軍所屬ノ學校ヲ卒業セサル者ハ身體検査及採用試験ニ合格スルコトヲ要ス
又左ノ事項ノ一ニ該當スル者ハ採用セラレス
- 一、年齢二十年未滿及滿二十八年以上ノ者

二、有妻ノ者

三、禁錮以上ノ刑ヲ受ケタル者又ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

四、復權ヲ得サル家資分散者若ハ身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者若ハ其相續人
右候補生ヲ採用スルトキハ海軍大臣之ヲ告示ス

第二章 海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校
第一節 海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒志願者心得

一、志願者ノ資格

- 一、年齢、其年ノ八月中ニ於テ年齢滿十六年以上滿二十年（海軍經理學校生徒ハ滿二十一年）以下ニシテ身體検査及學術試験ニ合格シタル者ノ中ヨリ採用ス
- 二、身長、五尺以上
- 三、體重及胸圍、體重十二貫以上、胸圍二尺五寸三分以上
但十七年未滿（検査時）ナルトキハ體重十一貫五百匁、胸圍二尺四寸八分以上ニシテ發育ノ見込アルトキハ合格トナスコトアルヘシ
- 四、左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ生徒ニ採用セス
 - 一、有妻ノ者
 - 二、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
 - 三、復權ヲ得サル家資分散者、破産者
 - 四、品行又ハ家庭不良ナルカ爲將來海軍高等武官タルノ體面ヲ保ツ能ハスト認ムル者

二、検査場

身體検査場及學術試驗場ヲ左ノ二十五箇所トス

- 東京市 仙臺市 盛岡市 山形市 青森市 札幌區 新潟市
- 長野市 静岡市 名古屋市 金澤市 京都市 鳥取市 和歌山市
- 徳島市 高知市 岡山市 廣島市 松山市 山口町 大分町
- 福岡市 長崎市 熊本市 鹿兒島市

三、試験科目及程度

學術試験科目ハ左ノ如シ

國語	及	漢文	算術	物	理
假名交リ	作文	代	術	化	學
英文	和	譯	幾	地	史
和文英譯	及	英文法	三	角	法
備考	試驗ハ	中學校卒業程度ヲ	標準トシ	一科目タリトモ	所定ノ規格ニ達セサルモノハ爾後試験ヲ繼續セシメス

四、願書及其差出シ方ニ就テ

- 一、毎年十二月頃官報ヲ以テ採用人員及願書呈出期日其他志願者心得等ニ就テ海軍省ヨリ告示セラルルモノトス
- 二、志願者ハ父兄親族其他可成自己ニ關係深クシテ一家ヲ爲ス身元確實ナル者二名ヲ以テ保證人トナ

シ(第一保證人ニ限り關東州、朝鮮、樺太、臺灣、及外國在住者ヲ除ク)志願書(第一號式)ニ左ノ書類ヲ添ヘ市區町村長(志願者單身寄留ノモノナルトキハ原籍地ノ市區町村長、全戸寄留ノモノナルトキハ寄留地ノ市區町村長)ノ奥書證印ヲ受ケ書留郵便其他確實ナル方法ヲ以テ指定ノ期日(大正六年十月十五)迄ニ海軍生徒採用試験委員長(海軍教育本部長以下同シ)ニ差出スヘシ

- 一、履歷書 第二號式
- 二、承認書 第三號式
- 三、身元明細書 第四號式
- 四、戶籍謄本

身元明細書ハ志願書ト同シク市區町村長ノ奥書證印ヲ要ス

前記書類中第三、第四ハ養子ニ在リテハ養家及實家ノモノヲ差出スヘシ(分家シタル戸主ハ其父母兄弟ノモノヲ要ス)

三、志願者ハ自己ノ教育ヲ擔任シタル中學校又ハ之ト同程度以上ノ學校長等(家庭教育ヲ受ケタルモノハ其ノ教師)ニ所見表提出ノコトヲ願出ツヘシ

右願出ヲ受ケタルモノハ速ニ所見表(第五號式)ヲ海軍生徒採用試験委員長ニ差出スモノトス

四、第一號書式乃至第五號書式ハ總テ二通ヲ要ス(一通ハ寫ニシテ捺印ヲ要セス)

五、志願書ヲ差出シタル後志願者又ハ保證人ノ原籍住所若ハ身上ニ異動ヲ生シタルトキ又保證人ヲ變更シタルトキハ該屆書ニ市區町村長ノ奥書證印ヲ得テ速ニ海軍生徒採用試験委員長ニ届出ツヘシ

六、志願者受験地ヲ變更セントスルトキハ成ルヘク速ニ(遅クモ一ヶ月半前)海軍生徒採用試験委員長

ニ届出ツヘシ

七、志願者若シ海軍生徒並陸軍諸候補生採用試験ノ何レニモ合格スルトキハ本人ノ希望ニ依リ其一ヲ選ミ他ノ一方ヲ取消スコトヲ得此場合ニ於テ海軍生徒採用ヲ取消サント欲スルモノハ保證人連署ヲ以テ速ニ海軍生徒採用試験委員長ニ届出ツヘシ

八、願書呈出ニ關スル注意左ノ如シ

- 一、願書提出ノ期日ニ後レタルモノハ受理セス
- 二、海軍兵學校海軍機關學校及海軍經理學校ノ三校ヲ志願スルカ又ハ其ノ一校或ハ二校ノミヲ志願スルカハ志願者ノ任意ナルヲ以テ志願書ニ校名ヲ單記又ハ列記シ置クヘシ
- 三、志願書ハ規定ニ依ルヘキハ勿論ナリト雖殊ニ左ノ諸件ニ留意スヘシ
 - 一 受験地ノ記入漏ナキコト
 - 二 自己及身元保證人ノ住所氏名ニ振假名ヲ附スルコト
- 四、履歷書中「所見表提出學校名及其ノ所在地又ハ家庭教師氏名及其ノ住所」ノ記入漏ナキ様注意ヲ要ス

五、所見表

志願者ハ一年以上在校シタル中學校又ハ之ト同程度以上ノ總テノ學校ノ校長等ニ指定時日(大正六
三月三十一日)迄ニ海軍教育本部ニ到達スル様所見表ノ作製提出ヲ願出ツヘシ(願出ツヘキ學校又ハ教師
ナキモノハ其ノ旨ヲ二號書式相當欄ニ記載スヘシ)
但何レノ學校ニモ一年以上在校セサルトキハ最近在校ノ學校長等ニ願出ツヘシ

六、身元明細書モ志願書ト同シク市區町村長ノ奥書證印ヲ要スルコトニ注意スヘシ

七、戸籍謄本ハ大正五年十一月以後ニ戸籍吏ノ作製シタルモノタルヘシ其ノ作製古キモノ或ハ疑シキ形跡アルモノハ受理セス

八、從來往々戸籍謄本ノ代リニ戸籍抄本ヲ志願書ニ添付シタルモノアリ是等ハ總テ無効トス

九、志願書及之ニ添付スヘキ書類ヲ發送スルニハ必ス左記ノ順序ニ綴リ封皮ニ「志願書在中」ト記シ書留郵便或ハ他ノ確實ナル方法ヲ以テスヘシ

- (1) 志願書
- (2) 履歷書
- (3) 承認書
- (4) 身元明細書
- (5) 戸籍謄本

從來往々郡市町村等ノ役場ニ差出シ之ヨリ轉送シ來ルモノアリ之カ爲提出期日ニ後レタルコトアリ特ニ此ノ點ニ留意ヲ要ス

十、志願書及之ニ添付スヘキ書類ニシテ完全セサルモノハ無効トス

十一、受験地ノ變更ヲ要スル者ハ必ス其ノ期限内ニ届出ツヘシ期限内ニ到達セサルモノハ受理セス

十二、志願書ヲ受理スルモノ之ヲ本人ニ通知スルコトナシ故ニ其ノ著否ヲ知ラント欲スル者ハ葉書ニ自己ノ住所氏名ヲ記シ願書ト同封ニテ送付スヘシ

十三、生徒志願ニ關シ海軍教育本部ニ送信スル時ハ封書ナラハ裏面ニ志願者何某ト明記ス可シ

十四、海軍生徒採用試験委員長(海軍教育本部長)ハ海軍中將有馬良橘ナリ

十五、海軍教育本部ハ東京市麴町區霞ヶ關(海軍省構内)ニアリ

第一號書式 (用紙美濃紙ニツ折二通内一通ハ寫トス)

(注意) 志願者及保證人ノ住所氏名ニハ振假名ヲ附シ其ノ讀方ヲ明ニスヘシ

年 月 日

受驗地

(某市)

志願者

本籍

住所

族籍戶主(戶主ニアラサレハ其ノ續柄)

氏

名 印

明治何年何月何日生

第一保證人

本籍

住所

族籍職業

氏

名 印

第二保證人

本籍

住所

族籍職業

氏

名 印

海軍大臣 爵 氏 名 殿

海軍生徒志願ノ件

某(志願者ノ名)儀海軍生徒ヲ志願ス許可入校ノ上ハ海軍ノ紀律ニ服従スルコトヲ誓フ

志願者ノ身ノ上ハ何事ニ限ラス保證人之ヲ擔保ス

志願校(志願ノ校名ヲ單記又ハ列記ス)

右出願ス

別記履歷書、承認書、身元明細書及戶籍謄本ヲ添フ

前書相違無シ

年 月 日

市區町村長 氏

名 印

第二號書式 (用紙美濃紙ニツ折二通内一通ハ寫トス)

歴 書

族

名

一出生ノ地名(何府縣何郡何市何町村)

一生長ノ地名(同右)

一學歷(學校ノ名、入校退學卒業ノ年月日、在學中ノ者ハ其ノ學年等)

一從事シタル職業等自己ノ經歷

一從前海軍兵學校、海軍機關學校、海軍經理學校生徒又ハ陸軍諸候補生ヲ志願シタル者ハ其ノ學校

名、志願回數、年次、體格合格又ハ不合格、學術試驗繼續缺席等ノ經歷(今回カ初度ノ志願ナル

トキハ其ノ旨)ヲ左例ニ依リ記入スヘシ

學校名	年度	成績	備考
兵學校	大正四年	學術落第	何回志願
機關學校	大正五年	體格不合格	何回志願
經理學校	大正五年	病氣缺席	何回志願
陸軍士官候補生	大正五年	事故缺席	何回志願
陸軍主計候補生	大正六年	體格不合格	何回志願
			志願セス

一志願者心得第十三ニ依リ所見表ヲ作製提出スヘキ學校名及其ノ所在地又ハ家庭教師氏名及其ノ住所
右ノ通相違無シ

年 月 日

第一保證人 氏 名 ①
第二保證人 氏 名 ①
承 認 書

第三號書式 (用紙美濃紙ニツ折二通内一通ハ寫トス)(親權ヲ行フ父若ハ母又ハ後見人之ヲ作ルヘシ)

右海軍何學校(志願校名)ヲ單記又ハ連記ス(生徒志願ニ付承認ス)

年 月 日

第四號書式 (用紙美濃紙ニツ折二通内一通ハ寫トス)
身 元 明 細 書

族 籍 氏 名
本 籍 住 所 氏 名
右何某父(母、後見人又ハ戶主) 氏 名 ①
族 籍 志願者 氏 名

志 願 者	處 刑、處 罰ノ 有 無 及 犯 行ノ 種 類 平 素ノ 行 狀
父 養父繼父アルモノハ 各別ニ記載スヘシ	氏名、官職、職業ノ種類等經歷ノ概要 死者ハ生前ノ經歷ヲ略記シ戰死者及公務死亡等ニ在リテハ何レノ役何レ ノ所ニテ戰死又ハ死亡等ヲ明記スヘシ
母 養母繼母アルモノハ 各別ニ記載スヘシ	處刑、處罰ノ有無及犯行ノ種類 氏名、職業ノ種類等經歷ノ概要 死者ハ生前ノ經歷ヲ略記スヘシ
	處刑、處罰ノ有無及犯行ノ種類

兄弟姊妹	父母ノ例ニ準ス
戸主 <small>前記以外ノモノ 月主ナルトキ</small>	父母ノ例ニ準ス
家庭ニ於ケル生計ノ現況	資産及所得ノ概略ヲ記スヘシ

右之通相違無シ
年 月 日

前書 無シ
海軍大臣爵 氏 名 殿
第一保證人 氏 名 印
第二保證人 氏 名 印
市區町村長 氏 名 印

第五號書式 (用紙半紙ニツ折二通内一通ハ寫トス)

所見表	目下ノ學級
志願者氏名	
入學年月及學級	

中途退學年月及學級

卒業年月	學科成績			學年得點(百分比)	席次	勤怠 <small>何人中ノ勤怠ノ狀況 番缺席ノ多少</small>	本人ノ長所及短所 <small>學科中最得意トスルモノト然ラサルモノトヲ記入ス</small>
	第三學年	第四學年	第五學年				
	同	同	同	同	右	右	同
	同	同	同	同	右	右	同

校長若ハ教育擔任者ノ認ムル所ヲ記ス
在校中ノ操行及賞罰ノ概略ヲ記ス殊ニ衆人ノ模範トナルヘキ舉動或ハ擯斥スヘキ行爲アリタルトキハ其ノ概略ヲ摘記スルヲ要ス
前記事項以外ノ必要事項ヲ記入ス
志願者ノ人格及學科進歩等ニ就キ校長若ハ教育擔任者ノ所見ヲ記入ス
學校所在地 何立學校長 氏 名 印

五 入學試驗受驗ニ就テノ注意

一、身體検査ハ學術試驗ニ先テ五月上旬之ヲ行フ其日割ハ四月二十日迄ニ海軍生徒採用試驗委員ヨリ
志願者ニ通告ス志願者若前記ノ期日内ニ通告ヲ受ケサルトキハ直ニ自己ノ住所氏名ヲ明記シ其旨ヲ

直接本人ヨリ海軍生徒採用試験委員ニ照會スヘシ
尙身體検査日割ハ検査開始ノ前日試験場所在ノ各府縣道廳(東京ハ深川區越中島商船學校)内ニ掲
示セラレアルヲ以テ就テ自己ノ日割ヲ承知スルヲ要ス

二、身體検査ニ合格セザル者ニ對シテハ學術試験ヲ行ハス

三、身體検査ノ際新ニ(検査當年一月以後)撮影(著帽ヲ禁ス)セル紙寫眞(臺紙附ニシテ表面ニ族籍氏名ヲ自書ス
ヘシ)一葉ヲ携帶シ検査官ニ差出スヘシ

四、身體検査當日ハ辨當ヲ携行スヘシ

五、身體検査ニ合格シタル者ニハ検査官ヨリ左ノ書類ヲ交付セララル

學術受験者心得 一葉

六、學術試験場ノ位置ハ身體検査場ニ揭示ス

七、志願者ニ如何ナル事故アルモ之カ爲メニ時日ヲ延ハシテ検査ヲ行フコトナシ

八、志願者受験地ヘノ往復並滞在費等ハ一切自辨トス

九、志願者ハ洋服又ハ和服ニ袴ヲ着用スヘシ又身體検査ニ際シテハ其前日入浴シテ身體ヲ清潔ニシ殊
ニ耳垢ヲ除キ口中ヲ清潔ニシテ出頭スヘシ

十、病氣其他ノ事故ニ依リ検査場ニ出頭シ能ハサルトキハ其旨受験地ニ於ケル試験官ニ届出ツヘシ

六、生徒ノ採用

一、生徒ヲ命スルニハ先ツ其採用豫定者ヲ六月下旬官報ニテ告示シ八月下旬之ヲ學校ニ召集シ再ヒ身
體検査ヲ行ヒタル後ニ於テス

採用豫定者ヲ召集スルニハ校長之ヲ第一保證人ニ達示ス

二、前條ノ召集者ニハ著校後ニ於テ本人ノ住所(受験當時ノ住所)ヨリ當該學校迄ノ旅費ヲ給ス

第二節 學校生活

イ 海軍兵學校

一、海軍兵學校ハ江田島ニ置キ海軍將校トスヘキ生徒ヲ教育スル所トス

二、生徒ノ修業期間ハ三年四ヶ月トス

三、學年ハ三學年ニ分チ第一學年ハ九月ヨリ翌年十二月ニ至リ第二、第三學年ハ二月ヨリ十二月ニ至ル
四、毎年七月二十五日ヨリ八月二十五日マテヲ夏期休業トシ十二月二十一日ヨリ翌年一月九日マテヲ
冬期休業トス

冬期休業トス

五、教授セラル、學科ハ戰術、軍制學、砲術、水雷術、運用術、航海術、機關術及普通學トス

六、各學年末ノ試験ニ於テ成績優等且品行善良ノ者ニハ優等章ヲ授與ス

七、生徒ハ入校ノ日ヨリ糧食被服其他修學ノ費用ヲ官給セラル、モノトシ

ロ、海軍機關學校

一、海軍機關學校ハ横須賀ニ置キ海軍機關將校トナスヘキ生徒ヲ教育スル所トス

二、修學期間ハ初學期及三學年ニ別チ初學期ハ九月ヨリ十二月ニ至リ各學年ハ一月ヨリ始マリ十二月
ニ至ル

三、其他ノ要領概ネ海軍兵學校ニ同シ

ハ、海軍經理學校

一、海軍經理學校ハ東京ニ置キ海軍主計官タルヘキ生徒ヲ教育スル所トス
二、其在校間ノ經過ハ概ネ海軍兵學校ニ同シ

第三章 海軍中軍醫海軍少軍醫海軍中藥劑士海軍少藥劑士海軍少軍醫候補生
海軍少藥劑士候補生志願者心得

一、願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ人事局長宛ニ出願スルコト
履 歷 書

戶籍謄本
身元證明書

一、學力證明ヲ當該學校ニ願出ルコト(願出ラレタルモノハ直接人事局長ヘ送附)

一、但外國留學生ニシテ相當ノ卒業證書ヲ有スルモノハ其寫

一、卒業證書ナキモノハ其修學明細書ヲ添付ノコト

一、試驗科目

(イ)少軍醫、少軍醫候補生

一 學 說 藥 物 學 內 科 學 外 科 學 眼 科 學 衛 生 學

二 實 地 局 處 解 剖 學 組 織 學 內 科 外 科

三 外 國 語 學 歐 文 和 譯

(ロ)少藥劑士、同候補生

一 學 說 化 學 藥 用 植 物 學 生 藥 學 製 藥 化 學 裁 判 化 學

二 實 地 分 析 術 藥 品 鑑 定 製 藥 試 驗 法 製 藥 化 學 調 製 術

三 外 國 語 學 歐 文 和 譯

第一 願書式 (用紙美濃紙ニツ折一通)

其 一

海軍中軍醫、少軍醫、中藥劑士、少藥劑士採用願

私儀海軍中軍醫(少軍醫、中藥劑士、少藥劑士)志願ニ付採用相成度履歷書戶籍謄本並ニ身元證明書
相添此段奉願候也

身體検査場所名

年 月 日

本 籍

現 住 所

官 位 勳 氏

名 ①

海軍省人事局長殿

追テ何學校長(醫學專門部監事)ニ學力證明書願出置候也

其 二

海軍少軍醫(少藥劑士、少軍醫候補生、少藥劑士候補生)採用願

私儀海軍少軍醫(少藥劑士、少軍醫候補生、少藥劑士候補生)志願ニ付試驗ノ上採用相成度履歷書、戶
籍謄本並ニ身元證明書相添此段奉願候也

受験外國語 何語
受験場所名 年 月 日

本籍
現住所
官位勳 氏 名 印

海軍省人事局長殿

第二 履歷書式 (用紙同上)

履 歷 書

何府縣華士族(平民)
戸主(或ハ何某男又ハ兄弟叔甥)
氏 名
何年何月何日生
何年何月何日生

- 一、修學及卒業シタル學校名並ニ其年月卒業證書寫、醫師試驗、醫術開業試驗又ハ藥劑師試驗及第證書寫
- 一、醫師免許證醫術開業免狀又ハ藥劑師免狀寫
- 一、官廳會社等ノ職務ニ從事シタル者ハ各辭令ノ全文
- 一、現ニ官廳ニ奉職スル者ハ其官廳名(所屬長官ノ受驗認可書ヲ添付スヘシ)前書相違無之候也

年 月 日

第三、學力證明書式

學 力 證 明 書

右 氏 名 印

族 籍 氏 名

- 一、在學年月 (何年何月入校) ト記入ス
- 一、卒業試驗成績ノ席次 (何年何月卒業) 同級生何人中ノ何番ト記入
- 一、卒業試驗成績 各科目ノ得點數若ハ之ニ相當ノモノヲ記入ス
- 一、所 見 學術、性質、習癖、素行人格等ニ就キ所見アラハ記入スヘシ

何學校長(醫學專門部主事) 氏 名 印

海軍省人事局長殿

第四、身元證明書式

身 元 證 明 書

本籍何府(縣)何郡(市)何區何町(村)
番地華士族平民 何

何年何月何日生 某

- 一、兵役關係 徵兵令第二十三條ニ依リ徵集猶豫中ノ處何年何月何日事故止ミ何年何月検査ヲ受ク

徵兵令第二十三條ニ依リ徵兵猶豫中

ヘキ者

明治何年徵集ノ現役兵砲兵若クハ明治何年徵集ノ補充兵歩兵

一、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ

一、破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ

一、破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルモ復權ヲ得タリ

一、身代限リノ處分ヲ受ケタルコトナシ

一、身代限リノ處分ヲ受ケタルモ負債ノ辨償ヲ終ヘタリ

年 月 日 市(區)町(村)長 氏 名

第四章 海軍中主計、海軍少主計、海軍少主計候補生志願者心得

一、要領第三章ニ同シ

一、試験科目

一 憲法 二 民法 三 行政法 四 財政學 五 經濟學

六 國際公法 七 外國語英佛獨

一、試験

口述試験、筆記試験

但シ口述ハ筆記ニ合格シタル者ニ就テノミ行フ

第一、願書式 (用紙同上)

海軍中主計(海軍少主計、少主計候補生)採用願

私儀海軍中主計(少主計、少主計候補生)志願ニ付(少主計候補生ニ在リテハ試験ノ上)採用相成度履
歷書戸籍謄本並ニ身元證明書相添此段奉願候也
外國語 何語(候補生志願者ニ限ル)

本籍 現住所 官位 勳 氏 名

海軍省人事局長殿

追テ何學校長ニ學力證明書願出置候也

備考 試験ヲ要スル者ノ願書ハ少主計候補生ノ願書ニ準ス

第二 履歷書式 (用紙同右)

履 歷 書

要領(同右)軍醫ノモノニ同シ

一、修學及卒業シタル學校名並年月

一、法律經濟學ノ教授ヲ受ケタル學校名及其年月

一、職業、技藝等

一、官廳會社等ノ職務ニ從事シタルモノハ各其辭令文

一、現ニ官廳ニ奉職スルモノハ其官廳名(同右)

年 月 日

右 氏 名

第三、學力證明書式

學力證明書

族籍

氏

名

一、在學年月

(同右)

一、卒業試驗成績ノ席次

(同右)

一、所見

(同右)

年 月 日

何學校長

氏

名

印

海軍省人事局長殿

第四、身元證明書式

身元證明書

記載要領(中軍醫ノモノニ同シ)

附 錄

一、陸海軍軍人ノ階級

陸海軍軍人階級表附表第一第二ノ如シ

二、陸海軍將校同相當官ノ進級

進級ハ級ヲ逐ヒテ歷進セシム其實役停年ノ最下限左ノ如シ但戰時ニ於テハ一般ニ半減スルコトヲ得ル
モノトス

一、陸 軍

少尉ヨリ中尉ニ進ムハ	二年
中尉ヨリ大尉ニ進ムハ	二年
大尉ヨリ少佐ニ進ムハ	四年
少佐ヨリ中佐ニ進ムハ	三年
中佐ヨリ大佐ニ進ムハ	二年
大佐ヨリ少將ニ進ムハ	二年
少將ヨリ中將ニ進ムハ	三年

中將ノ大將ニ進ムハ歴戰者又ハ功績特ニ顯著ナル者ニ就キ特旨ヲ以テ親任セラルルヲ例トシ最
 下限ヲ定ムルコトナシ
 將校相當官ノ進級モ亦此例ニ依ル

二、海軍

少尉、機關少尉及少尉相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ 一年
 中尉、機關中尉及中尉相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ 二年
 大尉、機關大尉及大尉相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ 五年
 少佐、機關少佐及少佐相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ 二年
 中佐、機關中佐及中佐相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ 二年
 大佐、機關大佐及大佐相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ 二年
 少將、機關少將及少將相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ 三年
 中將ノ大將ニ進ムハ歴戰者或ハ功績特ニ顯著ナル者ニ就キ特旨ヲ以テ親任スルヲ例トス
 機關少將及少將相當官ヨリ各其上級ノ官ニ進ムハ特別ノ功勞アル者ニ限ル
 實役停年中海上勤務ノ日數アルトキハ其三分ノ一二當ル日數ヲ更ニ實役停年ニ加算ス

三、現役定限年齡

現役定限年齡附表第三、第四ノ如シ

四、俸給及宅料

在職者ノ俸給及宅料左ノ如シ

一、陸軍

官等	區分	俸給(年額)	宅料(月額)	官等	區分	俸給(年額)	宅料(月額)
大將	將	七千五百圓	二十五圓	大尉	一等	千二百六十圓	四圓七十五錢
中將	將	五千圓	十八圓七十五錢	中尉	二等	千八十圓	四圓
少將	將	三千九百圓	十二圓五十錢	少尉	三等	九百圓	
大尉	佐	二千九百四十圓	十圓	同相當官	一等	六百八十四圓	四圓
中尉	佐	二千九百六十圓	八圓七十五錢	同相當官	二等	五百五十二圓	
少尉	佐	千五百四十八圓	七圓五十錢	同相當官	三等	四百八十圓	三圓五十錢

乘馬ヲ繫畜スルモノニハ別ニ馬糧及繫畜料ヲ給セラルルモノトス

一、參謀總長教育總監ノ職ニ在ル中將ノ俸給ハ年額六千二百四十圓トス
 二、聯隊長及獨立隊長ノ職ニ在ル佐官ニハ月額二十圓以內ヲ加給ス

22
14
136

17 21 14

官等	俸給(年額)					官等	俸給(年額)				
	大將	中將	少將	大佐	中佐		大尉	中尉	少尉	大少尉	中少尉
考備	七千五百圓	五千圓	四千六百一十一圓	三千四百六十六圓三十錢	二千三百九十四圓四十錢	千二百一十一圓八十錢	千九十五圓	九百八十五圓五十錢	七百三十圓	六百五十七圓	五百四十七圓五十錢
考	一、中將ニテ軍令部長ノ職ニ在ル者ニハ年俸六千二百五十圓ヲ給ス 二、中將ニシテ横須賀、吳、佐世保ノ鎮守府司令官ノ職ニ在ル者ニハ特ニ年俸五千六百圓ヲ 増給スルコトヲ得 三、大佐及同相當官タルコト五年以上ニシテ重要ナル職ニ在ル者ニハ特ニ年俸三千六百五 十圓ヲ給スルコトヲ得										

五、恩給(軍人恩給法参照)

陸海軍軍人ニシテ現役ヲ離レタル者ハ法律ノ定ムル所ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有ス
 恩給ハ分チテ退職恩給、免除恩給、増加恩給、賑恤金、給助金、扶助料ノ六種トス
 退職、免除、増加恩給及寡婦、父母、祖父母ノ扶助料ハ終身、孤兒ノ扶助料ハ年齢滿二十歳ニ至ル迄、
 賑恤金、給助金ハ一時限リ之ヲ給スル者ニシテ其金額ハ官階、服役年、從軍年及傷痕、疾病ノ原因又
 ハ程度等ニ從ヒ差異アルモノトス

退職恩給 准士官以上左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキ之ヲ給ス(第一號表参照)

- 一 現役十一年以上ニシテ年限ノ年齢ニ達シ又ハ傷痕、疾病ノ爲服役ニ堪ヘス退職シタルトキ
- 二 戦闘ノ爲又ハ公務ニ直接直因シテ傷痕ヲ受ケ若クハ公務履行ノ爲疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失
 ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ退職シタルトキ
- 三 現役十一年以上ニシテ未タ年限ノ年齢ニ達セスト雖休職、停職、滿期若クハ諭旨ニ依リテ退職
 シタルトキ

免除恩給 下士以下左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキ之ヲ給ス(第二號表参照)

- 一 現役十一年以上ニシテ年限年齢ニ達シ又ハ年限年齢ニ達セサルモ服役滿期トナリ或ハ傷痕、疾
 病ノ爲免官若クハ現役ヲ免除シタルトキ
- 二 退職恩給ニ於ケル第二號ニ由リ免官若クハ現役ヲ免除シタルトキ

増加恩給 戦闘又ハ公務ノ爲傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ兩眼ヲ盲シ若クハ二肢ヲ亡シ又ハ之ニ準ス

ヘキ者ニ退職恩給又ハ免除恩給ノ外特ニ之ヲ給ス而シテ其傷疾ノ程度及原因ニ依リ其金額ニ差アリ(第二號表參照)

賑恤金 下士以下戰闘又ハ公務ノ爲傷疾ヲ受ケ若クハ公務ノ爲疾病ニ罹リ現役ヲ離レタル者ニシテ増

加恩給ヲ給スヘキ程度ヨリ輕症ナル者ニ症狀ノ程度ニ依リ金額ヲ支給ス(戰傷ト公傷病トノ別)

給助金 下士以上現役中死歿シ若クハ現役四年以上十一年未滿ニシテ現役ヲ離レ退職恩給免除恩給ヲ

受ケサル者ニ各官等ニ應シ金額ヲ給ス(第四號表參照)

扶助料 軍人左ノ各項ノ一ニ當リタル者ノ遺族ニ支給スルモノニシテ其遺族ノ順位ヲ寡婦、孤兒、父

母、祖父、祖母ニ定メ先順位ノ權利者カ軍人恩給法ニ規定セル權利ニ消滅スヘキ事項ニ當リタルト

キハ順次次位者ニ轉給ス

一 戰死シ又ハ戰闘ニ因ル負傷ノ爲死歿シタルトキ(第一第二號表ノ金額)

二 公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ戰地ニ於テ若クハ公務旅行中流行病ニ罹リ死歿シ

タルトキ(第一、第二號表ノ金額三分ノ二)

三 退職恩給若クハ免除恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受クヘキ權利ヲ有シテ死歿シタルトキ(第一、第二號表

ノ金額三分ノ一)

孤兒扶助料ハ數子アルトキハ家名繼襲者ニ給シ非戸主軍人ノ孤兒ニ在リテハ長子ニ給シ支給期限

(二十歳未滿ノ男子ニシテ未結婚ノ者ヲ謂フ)滿ルトキハ順次年少者ニ及フ但家名繼襲者ヲ除クノ

外男子ヲ先ニシ女子ヲ後ニシ養男女子ハ家名繼襲者ノミニ給ス扶助料ヲ受クヘキ者ナク死歿シタ

ル軍人ノ戸籍内ニアル二十歳未滿又ハ廢疾不具ニシテ產業ヲ營ム能ハサル兄弟姊妹アリテ之ヲ給

第一號 退職恩給表

年數	官等				
	親任官	將官及相當官	佐尉官及相當官	准士官	判任官
十一年	一、八〇〇	一、四〇〇	九〇〇	五〇〇	三〇〇
十二年	一、八〇〇	一、四〇〇	九〇〇	五〇〇	三〇〇
十三年	一、八〇〇	一、四〇〇	九〇〇	五〇〇	三〇〇
十四年	一、八〇〇	一、四〇〇	九〇〇	五〇〇	三〇〇
十五年	一、九〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	四〇〇
十六年	一、九〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	四〇〇
十七年	一、九〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	四〇〇
十八年	二、〇〇〇	一、六〇〇	一、一〇〇	七〇〇	五〇〇
十九年	二、〇〇〇	一、六〇〇	一、一〇〇	七〇〇	五〇〇
二十年	二、〇〇〇	一、六〇〇	一、一〇〇	七〇〇	五〇〇
二十一年	二、〇〇〇	一、六〇〇	一、一〇〇	七〇〇	五〇〇
二十二年	二、〇〇〇	一、六〇〇	一、一〇〇	七〇〇	五〇〇

與スル者ナキトキハ寡婦ニ相當スル扶助料一乃至五年分ヲ一時限リ其兄弟姊妹ニ給スルコトヲ得

十一年	年數	第一號 免除恩給表									
		判下	等一	三任	等四	官士	海軍一等卒	陸軍上等兵	陸軍一等卒	陸軍二等卒	海軍二等卒
		一〇八	九六	八四	七二	六六	六〇	五四	四八		

五十年	二,九七〇	二,三三六	二,〇八〇	一,四八六	一,一八六	八九三	五九四	四四七	三五七	二九八
四十九年	二,九四〇	二,三三三	二,〇五八	一,四七〇	一,一七六	八八三	五八八	四四三	三五三	二九四
四十八年	二,九一〇	二,三三八	二,〇三八	一,四五六	一,一六四	八七四	五八二	四三七	三五〇	二九〇
四十七年	二,八八〇	二,三三四	二,〇一六	一,四四〇	一,一五一	八六四	五七六	四三三	三四六	二八八
四十六年	二,八五〇	二,三三〇	一,九八六	一,四二六	一,一四〇	八五六	五七〇	四二九	三四二	二八四
四十五年	二,八二〇	二,三二六	一,九七四	一,四一〇	一一二八	八四六	五六四	四二四	三四二	二八〇
四十四年	二,七九〇	二,三三三	一,九五四	一,三九六	一一一六	八三八	五五八	四一九	三四三	二七六
四十四年	二,七六〇	二,三三八	一,九三三	一,三八〇	一一〇四	八三〇	五五二	四一四	三四三	二七二
四十二年	二,七三〇	二,三八四	一,九二二	一,三六六	一一〇二	八二〇	五四六	四一〇	三四〇	二六八
四十一年	二,七〇〇	二,三九〇	一,八九〇	一,三五〇	一,〇九〇	八一〇	五四〇	四〇六	三四〇	二六四
四十一年	二,六七〇	二,三九六	一,八七〇	一,三三六	一,〇七八	八〇〇	五三四	四〇一	三四〇	二六〇
三十九年	二,六四〇	二,三三三	一,八四八	一,三〇〇	一,〇五六	七九二	五二八	三九六	三四〇	二五六

三十八年	二,六一〇	二,〇八八	一,八八八	一,三〇六	一,〇四四	七八四	五三三	三九三	三四〇	二六二
三十七年	二,五八〇	二,〇八五	一,八〇六	一,二九二	一,〇三三	七七四	五二六	三八八	三〇〇	二五八
三十六年	二,五五〇	二,〇八〇	一,七六六	一,二七六	一,〇二〇	七六六	五一〇	三八三	三〇〇	二五四
三十五年	二,五二〇	二,〇七六	一,七二六	一,二六〇	一,〇〇八	七五八	五〇四	三七八	三〇〇	二五〇
三十四年	二,四九〇	二,〇七二	一,六八六	一,二四四	九九六	七五〇	四九八	三七三	三〇〇	二四六
三十三年	二,四六〇	二,〇六八	一,六四六	一,二二八	九八四	七四二	四九二	三七〇	三〇〇	二四二
三十二年	二,四三〇	二,〇六四	一,六〇六	一二一二	九七二	七三〇	四八六	三六五	三〇〇	二三八
三十一年	二,四〇〇	二,〇六〇	一,五六六	一二〇〇	九六〇	七二二	四八〇	三六〇	三〇〇	二三四
三十年	二,三七〇	二,〇五六	一,五二六	一一八八	九四八	七一三	四七四	三五七	三〇〇	二三〇
二十九年	二,三四〇	二,〇五二	一,四八六	一一七〇	九三六	七〇五	四六八	三五三	三〇〇	二三〇
二十八年	二,三一〇	二,〇四八	一,四四六	一一五二	九二四	六九四	四六二	三四七	三〇〇	二三〇
二十七年	二,二八〇	二,〇四四	一,四〇六	一一三四	九一二	六八四	四五六	三四三	三〇〇	二三〇
二十六年	二,二五〇	二,〇四〇	一,三六六	一一一六	九〇〇	六七六	四五〇	三四〇	三〇〇	二三〇
二十五年	二,二二〇	二,〇三六	一,三二六	一一〇〇	八八八	六六八	四四四	三四〇	三〇〇	二三〇
二十四年	二,一九〇	二,〇三二	一,二八六	一,〇九六	八七六	六六〇	四三八	三四〇	三〇〇	二三〇
二十三年	二,一六〇	二,〇二八	一,二四六	一,〇八〇	八六四	六五二	四三二	三四〇	三〇〇	二三〇

四	四	四	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	二	二
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
二〇四	二〇二	一九八	一九六	一九二	一九〇	一八六	一八四	一八〇	一七八	一七四	一七二	一六八	一六六	一六〇
一九二	一九〇	一八六	一八四	一八〇	一七八	一七四	一七二	一六八	一六六	一六二	一六〇	一五六	一五四	一四八
一八〇	一七八	一七四	一七二	一六八	一六六	一六二	一六〇	一五六	一五四	一四二	一四〇	一三八	一三六	一三六
一四九	一四七	一四四	一四二	一四〇	一三七	一三五	一三二	一三〇	一二八	一二五	一二三	一一八	一一六	一一三
一四三	一四一	一三八	一三六	一三四	一三一	一二九	一二六	一二四	一二二	一一九	一一七	一一四	一一二	一〇七
一三七	一三五	一三二	一三〇	一二八	一二五	一二三	一二〇	一一八	一一六	一一三	一一一	一〇八	一〇六	一〇一
一三一	一二九	一二六	一二四	一二二	一一九	一一七	一一四	一一二	一一〇	一〇七	一〇五	一〇二	一〇〇	九五
一二五	一二三	一二〇	一一八	一一六	一一三	一一一	一〇八	一〇六	一〇四	一〇一	九九	九六	九四	八九

二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
一五六	一五四	一五〇	一四八	一四四	一四二	一三八	一三六	一三二	一三〇	一二六	一二四	一二〇	一一八	一一二
一四四	一四二	一三八	一三六	一三二	一三〇	一二六	一二四	一二〇	一一八	一一四	一一二	一〇八	一〇六	一〇〇
一三二	一三〇	一二六	一二四	一二〇	一一八	一一四	一一二	一〇八	一〇六	一〇二	一〇〇	九六	九四	八八
一一一	一〇八	一〇六	一〇四	一〇一	九九	九六	九四	九二	八九	八七	八四	八二	八〇	七七
一〇五	一〇二	一〇〇	九八	九五	九三	九〇	八八	八六	八三	八一	七八	七六	七四	七一
九九	九六	九四	九二	八九	八七	八四	八二	八〇	七七	七五	七二	七〇	六八	六三
九三	九〇	八八	八六	八三	八一	七八	七六	七四	七一	六九	六六	六四	六二	五七
八七	八四	八二	八〇	七七	七五	七二	七〇	六八	六五	六三	六〇	五八	五六	五一

五十年	四十九年	四十八年	四十七年	四十六年	四十五年	四十四年
二二六	二二二	二二〇	二一六	二一四	二一〇	二〇八
二二四	二一〇	二〇八	二〇四	二〇二	一九八	一九六
二〇二	一九八	一九六	一九二	一九〇	一八六	一八四
一六六	一六四	一六一	一五九	一五六	一五四	一五二
一六〇	一五八	一五五	一五三	一五〇	一四八	一四六
一五四	一五二	一四九	一四七	一四四	一四二	一四〇
一四八	一四六	一四三	一四一	一三八	一三六	一三四
一四二	一四〇	一三七	一三五	一三二	一三〇	一二八

第三號 增加恩給表

種類	項	將官及相當官								准士官							
		高				等				下				士			
親任	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	一等	二等	三等	四等	一等	二等	三等	四等	
第一項	二千	四千六百	四千四百	四千二百	三千八百	三千六百	三千四百	三千二百	二千八百	二千六百	二千四百	二千二百	一千八百	一千六百	一千四百	一千二百	
第二項	二千	四千六百	四千四百	四千二百	三千八百	三千六百	三千四百	三千二百	二千八百	二千六百	二千四百	二千二百	一千八百	一千六百	一千四百	一千二百	
第三項	二千	四千六百	四千四百	四千二百	三千八百	三千六百	三千四百	三千二百	二千八百	二千六百	二千四百	二千二百	一千八百	一千六百	一千四百	一千二百	
第四項	二千	四千六百	四千四百	四千二百	三千八百	三千六百	三千四百	三千二百	二千八百	二千六百	二千四百	二千二百	一千八百	一千六百	一千四百	一千二百	

乙						號					
第六項	四百	四百	四百	四百	四百	第五項	四百	四百	四百	四百	四百
第五項	四百	四百	四百	四百	四百	第四項	四百	四百	四百	四百	四百
第四項	四百	四百	四百	四百	四百	第三項	四百	四百	四百	四百	四百
第三項	四百	四百	四百	四百	四百	第二項	四百	四百	四百	四百	四百
第二項	四百	四百	四百	四百	四百	第一項	四百	四百	四百	四百	四百
第一項	四百	四百	四百	四百	四百	第六項	四百	四百	四百	四百	四百
第六項	四百	四百	四百	四百	四百	第五項	四百	四百	四百	四百	四百

第四號 給助金表

將官及相當官										准士官									
高					等					下					士				
親任	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	一等	二等	三等	四等	一等	二等	三等	四等			
1,200	1,250	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700	1,750	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000			

附表第三

陸軍現役將校同相當官定限年齡表

六十五歲	大將	(元帥タル大將ノ現役定限年齡ハ之ヲ定メス)
六十二歲	中將	主計總監 軍醫總監
六十歲	主計監	軍醫監
五十八歲	少將	
五十六歲	一等主計正	一等軍醫正 一等藥劑正 一等獸醫正
五十五歲	大佐	
五十四歲	二等主計正	二等軍醫正 二等藥劑正 二等獸醫正
五十三歲	中佐	
五十二歲	三等主計正	三等軍醫正 三等藥劑正 三等獸醫正
五十歲	少佐	一等主計 一等軍醫 一等藥劑官 一等獸醫 一、二等樂長

四十八歲	大尉
四十七歲	二、三等主計 二、三等軍醫 二、三等藥劑官 二、三等獸醫
四十五歲	中、少尉

附表第四

海軍高等武官現役年限年齡表

六十五歲	大將 (元帥タル大將ニハ適用セズ)
六十二歲	高等官一等ノ軍醫總監、主計總監、造船總監、造機總監、造兵總監、
六十歲	中將 機關中將
五十八歲	高等官二等ノ軍醫總監、主計總監、造船總監、造機總監、造兵總監、
五十六歲	少將 機關少將
五十四歲	軍醫大監、藥劑大監、主計大監、造船大監、造機大監、造兵大監
五十二歲	大佐 機關大佐 水路大監

五十歲	軍醫中監、藥劑中監、主計中監、造船中監、造機中監、造兵中監
四十八歲	中佐 機關中佐、水路中監
四十七歲	軍醫少監、藥劑少監、主計少監、造船少監、造機少監、造兵少監
四十五歲	少佐 機關少佐、水路少監
四十四歲	大軍醫、大藥劑士、大主計、造船大技士、造機大技士、造兵大技士
四十三歲	大尉 機關大尉、水路大技士
四十歲	中、少軍醫、中、少藥劑士、中、少主計、造船中、少技士、造機中、少技士、造兵中、少技士
三十八歲	中、少尉 機關中、少尉、水路中、少技士

曹 騎 兵 伍 長	曹 步 兵 伍 長	曹 憲 兵 伍 長	下 士	官
騎 兵 上 等 兵	步 兵 上 等 兵	憲 兵 上 等 兵	兵	
騎 兵 一 等 卒	步 兵 一 等 卒		卒	
騎 兵 二 等 卒	步 兵 二 等 卒			

附表第二

海軍軍人

將官	海軍大將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍
機關將官	海軍機關中將	海軍機關少將	海軍機關大佐	海軍機關中佐	海軍機關少佐	海軍	海軍
將官同相當官	海軍軍醫總監	海軍軍醫總監	海軍軍醫大監	海軍軍醫中監	海軍軍醫少監	海軍	海軍
海軍主計總監	海軍主計總監	海軍主計大監	海軍主計中監	海軍主計少監	海軍	海軍	海軍
海軍造船總監	海軍造船總監	海軍造船大監	海軍造船中監	海軍造船中監	海軍	海軍	海軍
海軍造機總監	海軍造機總監	海軍造機大監	海軍造機中監	海軍造機中監	海軍	海軍	海軍
海軍造兵總監	海軍造兵總監	海軍造兵大監	海軍造兵中監	海軍造兵中監	海軍	海軍	海軍
海軍水路大監	海軍水路中監	海軍水路中監	海軍水路中監	海軍水路中監	海軍	海軍	海軍

備考 軍醫、藥劑、主計、造船、造兵、水路ノ少尉相當官以上ヲ將校相當官ト云フ
 軍樂長、船匠長、機關兵曹長、看護長、筆記長ヲ兵曹相當官ト云フ

軍 人 階 級 表

	長官	士官	士	准士官	下	士	一等	二等	三等	四等	五等
軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	上等兵曹	一等兵曹	一等水兵	二等水兵	三等水兵	四等水兵	五等水兵
機關中佐	海軍機關少佐	機關大尉	機關中尉	機關少尉	上等機關兵曹	一等機關兵曹	一等木工	二等木工	三等木工	四等木工	五等木工
相 當 官	尉 官	尉 官	相 當 官	尉 官	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍醫中監	海軍醫少監	海軍大軍醫	海軍中軍醫	海軍少軍醫	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍藥劑中監	海軍藥劑少監	海軍大藥劑士	海軍中藥劑士	海軍少藥劑士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍主計中監	海軍主計少監	海軍大主計	海軍中主計	海軍少主計	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造船中監	海軍造船中監	海軍造船大技士	海軍造船中技士	海軍造船少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造機中監	海軍造機中監	海軍造機大技士	海軍造機中技士	海軍造機少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造兵中監	海軍造兵中監	海軍造兵大技士	海軍造兵中技士	海軍造兵少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍水路中監	海軍水路中監	海軍水路大技士	海軍水路中技士	海軍水路少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍主計中監	海軍主計少監	海軍大主計	海軍中主計	海軍少主計	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造船中監	海軍造船中監	海軍造船大技士	海軍造船中技士	海軍造船少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造機中監	海軍造機中監	海軍造機大技士	海軍造機中技士	海軍造機少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造兵中監	海軍造兵中監	海軍造兵大技士	海軍造兵中技士	海軍造兵少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍水路中監	海軍水路中監	海軍水路大技士	海軍水路中技士	海軍水路少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍主計中監	海軍主計少監	海軍大主計	海軍中主計	海軍少主計	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造船中監	海軍造船中監	海軍造船大技士	海軍造船中技士	海軍造船少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造機中監	海軍造機中監	海軍造機大技士	海軍造機中技士	海軍造機少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍造兵中監	海軍造兵中監	海軍造兵大技士	海軍造兵中技士	海軍造兵少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
軍水路中監	海軍水路中監	海軍水路大技士	海軍水路中技士	海軍水路少技士	看 護 師	一等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護

當官以上ヲ將校相當官ト云フ
ヲ兵曹相當官ト云フ

2,046

大正六年四月十二日印刷
大正六年四月十三日發行

發行所

南葵育英會

東京市麻布區飯倉町六丁目十四番地

編輯者兼
行輯者

山本敏一
東京市麻布區飯倉町六丁目十四番地

印刷者

倉谷鎮夫
東京市芝區愛宕町三丁目二番地

印刷所

東洋印刷株式會社
東京市芝區愛宕町三丁目二番地

終